



ICHIKAWA SOFT LABORATORY



for Windows Me/2000/XP 日本語版

活用ガイドブック

Copyright (C) 2006 ,Ichikawa Soft Laboratory Co.,Ltd. All rights reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、株式会社市川ソフトウェアから文書による許諾を受けずに、無断で複製・複写・転載・引用することは禁じられています。
本書に記載されている商品名は一般に各社の商標です。
本書内で解説しているプログラムおよび画面は開発中の為、製品と仕様が異なる場合があります。
落丁、乱丁はお取替えいたします。その場合、お手数ですが市川ソフトサポートセンターまでご連絡下さい。

もくじ

I . ツアー			
~画像の取り込みから印刷まで	5		
1. 「デジコラージュ 10」の起動	5		
2. 画像を自動取込機能で取り込む	6		
【参考】自動取込機能について	6		
【参考】[取込中止]ボタンについて	6		
3. 画像を選択する	7		
【参考】サムネイルとは・・・	7		
【参考】サムネイルの選択と解除について	7		
4. 画像を 90 度単位で回転する	8		
【参考】画像を回転する際の注意点	8		
【参考】細かな角度の回転について	8		
5. 画像を自動で補正する	9		
【参考】自動補正機能について	9		
6. 画像を L 判用紙へ印刷する	10		
【参考】プリンタのプロパティを起動する	10		
【参考】印刷プレビューについて	11		
【参考】内接・外接とは・・・	12		
7. 「デジコラージュ 10」の終了	12		
II . アルバムセクションを 活用しよう	13		
1. 編集した画像を壁紙にする	13		
【参考】表示されるボタンについて	13		
2. 編集した画像を スライドショーに設定する	14		
【参考】表示されるボタンについて	14		
【参考】スライドショーの出力について	15		
【参考】スライドショーの起動について	15		
3. 編集した画像を スクリーンセーバーに設定する	16		
【参考】表示されるボタンについて	16		
4. 編集した画像をメールに添付する	17		
【参考】メール送信について	17		
【参考】MAPI とは・・・	17		
III . 変形カテゴリを活用しよう	18		
【参考】セクション移動時の注意点	18		
1. L 判用紙サイズへ画像を切り抜く	18		
2. 画像を回転する	20		
【参考】角度を「0」に戻すには・・・	21		
3. 画像サイズを変更する (解像度変換)	21		
IV . 補正カテゴリを活用しよう	23		
【参考】セクション移動時の注意点	23		
1. 画像全体を自動で補正する	23		
【参考】自動補正機能について	24		
2. 補正パターンを選んで補正する	25		
【参考】領域選択を使った補正	26		
3. ホワイトバランスを調整する	26		
【参考】ホワイトバランスとは・・・	26		
4. 赤目を補正する	27		
5. 不要な部分を消去する	29		
【参考】それぞれの円の役割	29		
6. 複雑な範囲を補正する	30		
【参考】ニューロ機能について	31		
V . 合成に挑戦してみよう	32		
【参考】セクション移動時の注意点	32		
VI . 装飾セクションを活用しよう	36		
【参考】セクション移動時の注意点	36		
1. 装飾セクションへ移動する	36		
2. フレームを付ける	37		
3. スタンプを押す	37		
【参考】キャンバスの表示範囲について	37		
4. 文字を入力する	38		
5. 文字の背景を塗りつぶす	40		
VII . フィルタカテゴリを 活用しよう	41		
【参考】セクション移動時の注意点	41		
1. 領域を選択して操作する	41		

4 目次

2. 写真の一部だけにフィルタを掛ける	43
---------------------	----

VIII. 印刷カテゴリを活用しよう 45

1. 画像をL判用紙へ印刷する	45
-----------------	----

【参考】プリンタのプロパティを起動する	46
---------------------	----

2. 年賀状を作成する	47
-------------	----

【管理モード上の操作】	47
-------------	----

【編集モード上の操作】	48
-------------	----

【出力～印刷モード上の操作】	50
----------------	----

【参考】プリンタのプロパティを起動する	51
---------------------	----

3. 名刺を作成する	52
------------	----

【管理モード上の操作】	52
-------------	----

【編集モード上の操作】	53
-------------	----

【出力～印刷モード上の操作】	55
----------------	----

【参考】プリンタのプロパティを起動する	56
---------------------	----

4. カレンダーを作成する	57
---------------	----

【管理モード上の操作】	57
-------------	----

【編集モード上の操作】	58
-------------	----

【参考】全てのフォントを変更する	59
------------------	----

5. ポスター(拡大)印刷をする	62
------------------	----

【参考】プリンタのプロパティを起動する	63
---------------------	----

6. ポスターを貼り合わせる	64
----------------	----

【参考】用意するもの	64
------------	----

I. ツアー～画像の取り込みから印刷まで

ここでは、「デジコラージュ 10」のアルバムセクションを使って、画像の取り込みから印刷紙への印刷までの基本的な操作をご案内します。

1. 「デジコラージュ 10」の起動

①「デジコラージュ 10」を起動します。

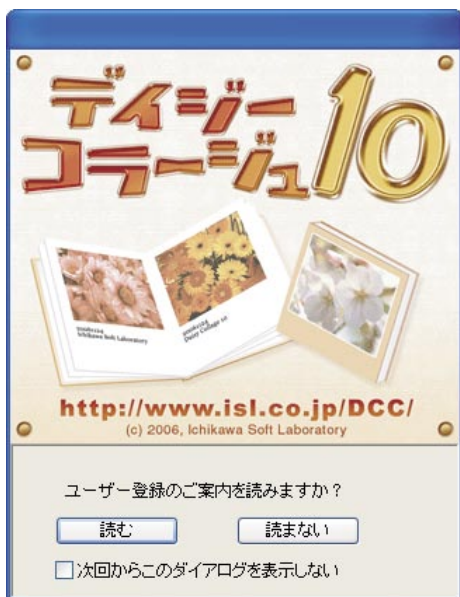
デスクトップより、「デジコラージュ 10」のショートカットアイコンをダブルクリックして下さい。

※「デジコラージュ 10」はインストールの際に、自動的にデスクトップ上にショートカットアイコンを作成します。



②「デジコラージュ 10」が起動すると、まずタイトル画面(別名:スプラッシュ)が表示されます。

初めて「デジコラージュ 10」を起動された際には、この画面で「ユーザー登録のご案内を読みますか?」というメッセージが表示されます。



ユーザー登録はお客様のサポートに必要な処理となりますので、[読む]ボタンをクリックして一度はこの内容をご覧下さい。



またこのタイトル画面の下部の「次回からこのダイアログを表示しない」項目をクリックして、チェックマークを付けると次回からユーザー登録のご案内をご覧いただくための確認は表示されなくなります。

2. 画像を自動取込機能で取り込む

「デジコラージュ 10」では、まず操作する画像を「デジコラージュ 10」へ登録保存する必要があります。この登録保存された画像を使って、色の補正や合成などの様々な編集や、印刷などの操作を行うためです。

ここでは、デジタルカメラで撮影された画像の保存されている場所を検出し、「デジコラージュ 10」上の保存場所（「アルバム」）を作成して、登録保存をするまでの処理を自動的に行う自動取込機能の操作をご案内します。

■自動取込機能について

お使いのデジタルカメラまたは画像入力機器のメディアが DCF 規格に対応している機器の場合には、「自動取込」機能からの画像取り込みが行えます。

但し、お使いのデジタルカメラまたは画像入力機器がパソコンにドライブとして認識されない場合には、この機能はご利用いただけません。

この場合には、カードリーダーなどの機器をご利用の上、メディアの保存場所がドライブとして認識できる状態にした上でご利用下さい。

①お使いのデジタルカメラまたは画像入力機器をパソコンにセットしてから、[自動取込] ボタンをクリックして下さい。




②「画像の自動取込」ダイアログが表示されます。



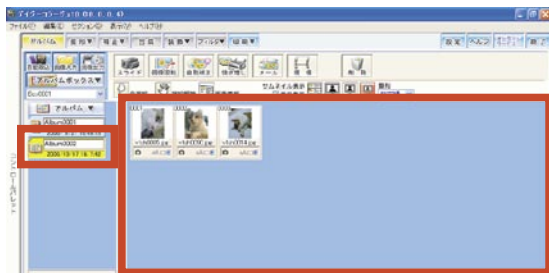
[取込開始] ボタンをクリックして下さい。

③自動取込の操作が実行されます。そのまましばらくお待ち下さい。

■ [取込中止] ボタンの操作について

- a. 誤って、「自動取込」機能を起動してしまった場合に  は、[取込中止] ボタンをクリックして、「画像の自動取込」ダイアログを閉じて下さい。
- b. 自動取込時に、目的の画像の保存されているフォルダ以外のフォルダが選択されていた場合には、[取込中止] ボタンをクリックすると、そのフォルダの取り込みを中止し、次に検出したフォルダが読み込み元として認識されます。

④新しいアルバムが作成され、取り込んだ画像を登録保存します。



3. 画像を選択する

「デジコラージュ 10」では、画像の加工や印刷などの操作を行う際に、まず操作する画像を選択します。

①アルバムサムネイル一覧から、操作するサムネイル(画像)をクリックして下さい。



②サムネイルをクリックすると、サムネイルの枠が水色になり、選択された状態になります。
※ RAW データを選択した場合には、サムネイルの枠はオレンジ色に変わります。

【選択前】



【選択後】



■サムネイルとは・・・

親指の爪ほどの大きさの写真を表す言葉で、本来の画像を縮小した画像のことです。

「デジコラージュ 10」では、一覧表示に使われる小さな画像をサムネイル(画像)と呼んでいます。

■サムネイルの選択と解除について

a. 全てのサムネイルを選択する



現在アルバムサムネイル一覧に表示されているサムネイルを全て選択する場合には、[全選択] ボタンをクリックして下さい。

b. 選択を解除する



誤って、違うサムネイルを選択してしまった時など、選択されたサムネイルを選択前の状態に戻す場合には [選択解除] ボタンをクリックすると、現在選択されているサムネイルを全て選択前の状態に戻します。

なお、選択されているサムネイルの内、1枚のサムネイルだけの選択を解除する場合には、そのサムネイルをもう一度クリックすると、クリックしたサムネイルだけが選択前の状態に戻ります。

4. 画像を 90 度単位で回転する

■画像を回転する際の注意点

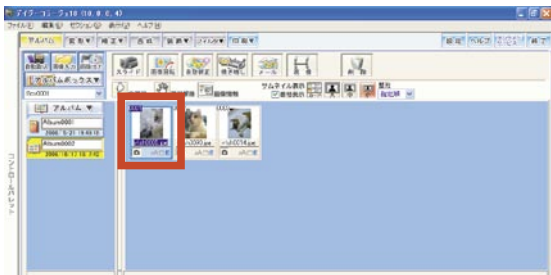
画像を回転すると、その時点で画像に付加されている情報(文字/フレーム/撮影情報など)は消去され、元に戻せません。

このため、元画像を残したい場合には、回転の操作を行う前に、画像のコピーを作成してから操作を行うことをお勧めします。

また、文字やフレームを付けた状態で画像を回転する場合には、回転の操作を行う前に、操作するサムネイルを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、この中の「確定」を実行して、文字やフレームを画像と統合してから回転の操作を行って下さい。



①アルバムサムネイル一覧から、回転するサムネイル(画像)をクリックして下さい。

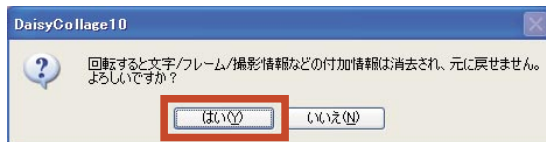


② [画像回転] ボタンをクリックして下さい。



③確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックして下さい。



④サムネイルの画像が右方向へ 90 度回転します。

[画像回転] ボタンは 1 回クリックする毎に、右方向へ画像を 90 度ずつ回転します。

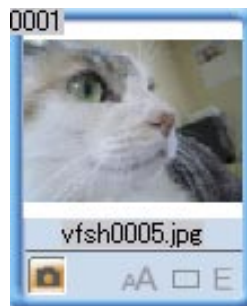
※ 180 度以上の回転を行う場合には、希望の角度まで複数回このボタンをクリックして下さい。

下図は、[画像回転] ボタンを 3 回クリックした状態です。

【回転前】



【回転後】



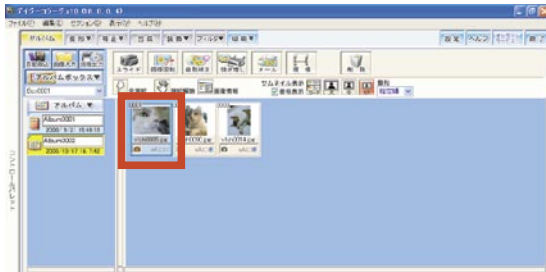
■細かな角度の回転について

90 度単位以外での画像の回転につきましては、変形カテゴリの中の回転セクションにて操作を行って下さい。

※本書 20 ページをご参照下さい。

5. 画像を自動で補正する

①アルバムサムネイル一覧から、補正するサムネイル(画像)をクリックして下さい。



②[自動補正]ボタンをクリックして下さい。

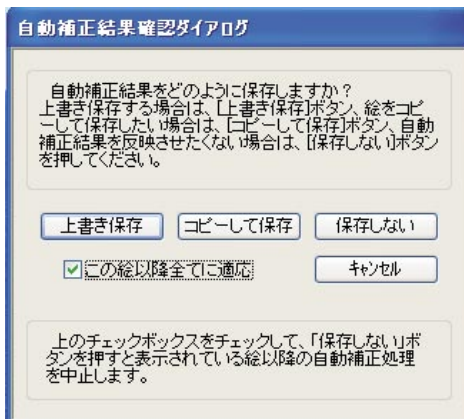


■自動補正機能について

「デジコラージュ 10」には、画像の被写体を認識し、画像の色素や明るさなどの傾向から、自動的に被写体が最も美しく見える補正値を算出して、算出した補正値に補正を実行する「IR(Image Recognition)補正」機能が実装されています。

[自動補正]ボタンをクリックすると、その時点で選択されている画像にこの「IR自動補正」機能を反映させます。

③「自動補正結果確認」ダイアログが表示されます。



現在表示されている画像に直接自動補正を反映させる場合には、[上書き保存]ボタンをクリックして下さい。

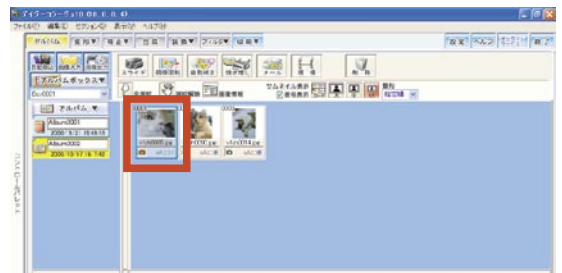
現在表示されている画像のコピーを作成し、その画像に自動補正を反映させる場合には、[コピーして保存]ボタンをクリックして下さい。

複数の画像を選択して「自動補正」機能を実行した際に、操作を行わない画像が選択されていて、ここで表示された場合には、[保存しない]ボタンをクリックすると、その画像には自動補正を行いません。

また、「この絵以降全てに適用」をクリックしてチェックマークを付けてから、何れかのボタンを選択すると、現在表示されている画像以降全ての画像にこの時点で選択されたボタンの処理を実行します。

④自動補正が実行されます。

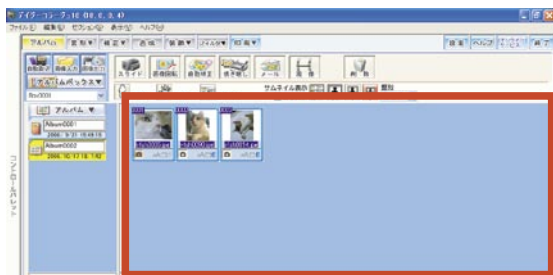
処理が終了すると、アルバムセクションに戻ります。



10 ツアー～取り込みから印刷まで

6. 画像をL判用紙へ印刷する

①アルバムサムネイル一覧から、印刷するサムネイル(画像)をクリックして下さい。



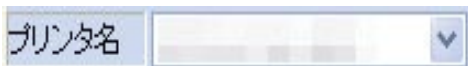
② [焼き増し] ボタンをクリックして下さい。



③「焼き増し」ウィンドウが表示されます。



④使用するプリンタを「プリンタ名」欄に設定して下さい。

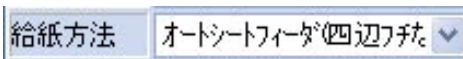


⑤「L判(89×127mm)」サイズを「用紙サイズ」欄に設定して下さい。



※プリンタにより、「L判(89×127mm)」が直接ご利用いただけない場合には、プリンタの取扱説明書をご参考の上、「L判(89×127mm)」に相当するサイズを「プリンタのプロパティ」から設定して下さい。

⑥使用する給紙方法を「給紙方法」欄に設定して下さい。



⑦使用する用紙の種類を「用紙種類」欄に設定して下さい。

※プリンタにより、用紙種類の設定が直接ご利用いただけない場合には、プリンタの取扱説明書をご参考の上、使用する用紙の種類を「プリンタのプロパティ」から設定して下さい。



■プリンタのプロパティを起動する

「プリンタ名」欄に使用するプリンタ名を設定してから、[印刷設定] ボタンをクリックすると、設定されたプリンタのプロパティが起動します。

※プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧下さい。



⑧サムネイルの下部に表示されている[+]ボタン、または[-]ボタンをクリックして印刷枚数を設定します。



⑨印刷品質を設定します。

「きれい」の設定を使用する場合には、「きれい」をクリックして「・」を付けて下さい。

「はやい」の設定を使用する場合には、「はやい」をクリックして「・」を付けて下さい。

印刷品質 はやい きれい

⑩印刷方向を設定します。

縦長に印刷をする場合には、「縦」をクリックして「・」を付けて下さい。

横長に印刷する場合には、「横」をクリックして「・」を付けて下さい。

印刷方向 縦 横

⑪印刷配置を設定します。

画像を「内接」に配置して印刷をする場合には、[内接] ボタンをクリックして下さい。

画像を「外接」に配置して印刷をする場合には、[外接] ボタンをクリックして下さい。

※「内接」・「外接」の設定につきましては、後述の「内接・外接とは・・・(12 ページ)」をご参照下さい。

印刷配置 内接 外接

⑫自動回転の有無を設定します。

「自動回転」機能を有効にする場合には、「自動回転」をクリックしてチェックマークを付けて下さい。

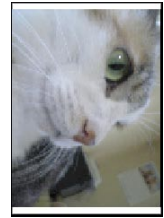
自動回転

例えば、横長の画像を縦長の用紙へ印刷する場合、「自動回転」機能を有効に設定すると、用紙の向きに合わせて自動的に画像を回転して配置します。

【無効な状態】



【有効な状態】



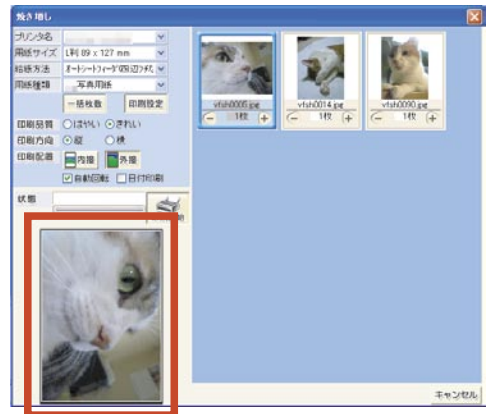
⑫日付印刷の有無を設定します。

「日付」機能を有効にすると、印刷時に、写真の右下角へその画像ファイルが撮影された日付、または作成された日付を印刷します。

日付印刷

■印刷プレビューについて

「焼き増し」ウインドウの各項目を設定していくと、随時ウインドウ左下の印刷プレビューに状態が反映されます。



⑬ [印刷開始] ボタンをクリックすると印刷を開始します。



※「状態」のプログレスバーの進行中に [印刷中止] ボタンをクリックすると印刷を中止します。

状態



12 ツアー～取り込みから印刷まで

■内接・外接とは・・・

「デージーコラージュ 10」には、設定された用紙に対して画像の印刷範囲を自動的に配置する「内接」及び「外接」機能があります。

【内接】

設定された用紙に対して、画像が用紙からはみ出さないように、縦または横の辺の内、どちらか長い辺を基準として画像を自動的に配置します。

なお、画像と用紙の縦横の比率が異なる場合には、基準とした辺に対してもう一方に余白が発生することがあります。

右図では、画像の上下の斜線部分が余白となります。



【外接】

設定された用紙に対して、余白が発生しないように、縦または横の辺の内、どちらか短い辺を基準として画像を自動的に配置します。

なお、画像と用紙の縦横の比率が異なる場合には、基準とした辺に対してもう一方は印刷領域を超えて配置するため、一方の画像の端が切れた状態になることがあります。

右図では、画像の左右の斜線部分が印刷領域を超えて印刷できない範囲となります。



7. 「デージーコラージュ 10」の終了

「デージーコラージュ 10」を終了します。

「デージーコラージュ 10」へ登録保存した画像は、「デージーコラージュ 10」のプログラムが直接管理しているため、画像は自動的に保存されています。

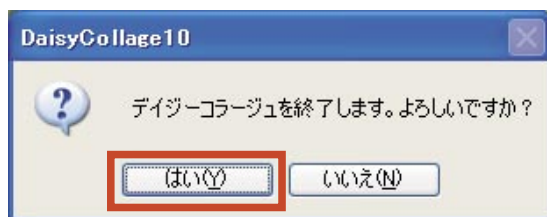
このため、次回「デージーコラージュ 10」を起動した時には、前回「デージーコラージュ 10」を終了した状態の画像が保存されている状態のアルバムセクションが起動します。

① [終了] ボタンをクリックします。



② 「デージーコラージュを終了します。よろしいですか?」という確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックすると、「デージーコラージュ 10」を終了します。

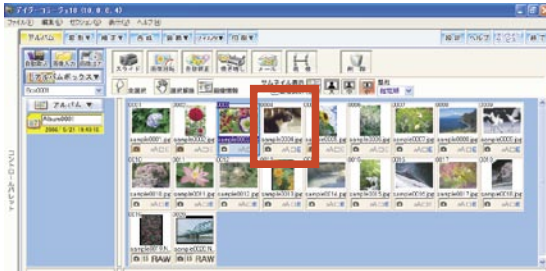


Ⅱ. アルバムセクションを活用しよう

ここでは、「デ이지ーコラージュ 10」のアルバムセクションで操作できる壁紙の設定やメールへ画像を添付するなどの操作をご案内します。

1. 編集した画像を壁紙にする

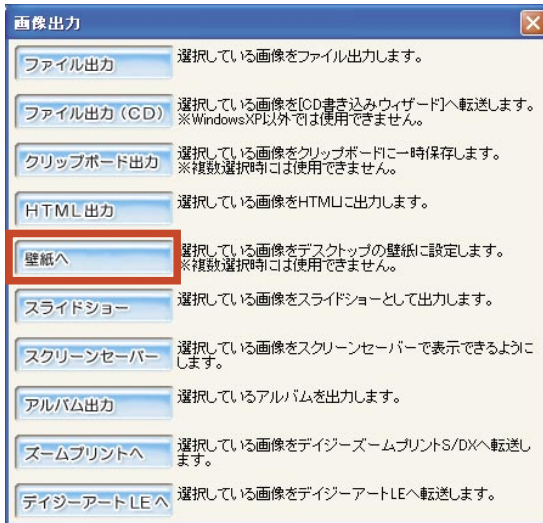
①アルバムサムネール一覧から、壁紙に設定するサムネール(画像)をクリックして下さい。



②「画像出力」ボタンをクリックして下さい。



③「画像出力」ダイアログが起動します。「壁紙へ」ボタンをクリックして下さい。

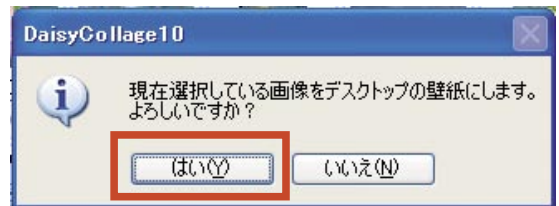


■表示されるボタンについて

「デ이지ーアートLE」がご利用のパソコンにインストールされている場合、[デイズーアートLEへ]ボタンをクリックすると、選択された画像を「デイズーアートLE」を起動して表示します。

同様に[ズームプリントへ]ボタンは、「デイズームプリントDX」または「デイズームプリントS」がご利用のパソコンにインストールされている場合、このボタンをクリックすると、「デイズームプリントDX」または「デイズームプリントS」に起動します。

④確認メッセージが表示されますので、[はい]ボタンをクリックして下さい。

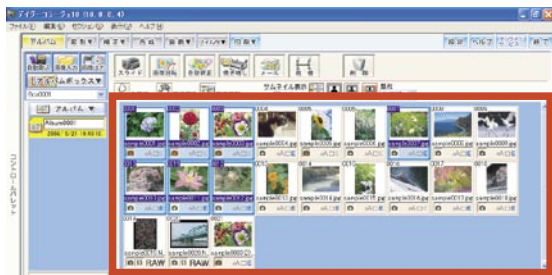


⑤デスクトップの壁紙が、選択した画像に変更されます。

※壁紙の表示サイズの調整及び壁紙を元に戻す操作につきましては、Windowsの操作となりますので、ご利用のパソコンの説明書またはWindowsのマニュアルをご覧ください。

2. 編集した画像をスライドショーに設定する

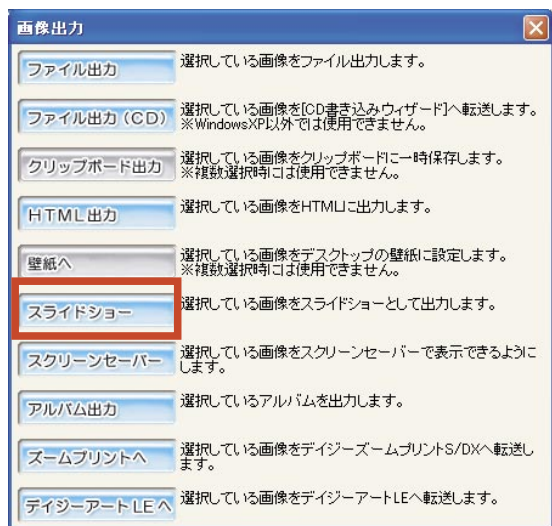
①アルバムサムネイル一覧から、スライドショーに設定するサムネイル(画像)を全てクリックして下さい。



②[画像出力]ボタンをクリックして下さい。



③「画像出力」ダイアログが起動します。
[スライドショー]ボタンをクリックして下さい。



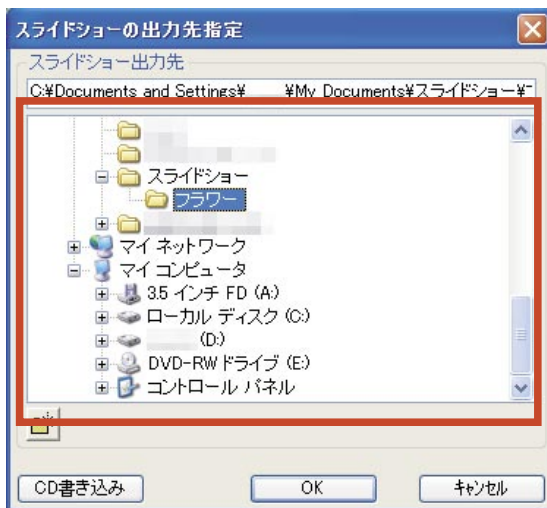
■表示されるボタンについて

「デジアーアートLE」がご利用のパソコンにインストールされている場合、[デジアーアートLEへ]ボタンをクリックすると、選択された画像を「デジアーアートLE」を起動して表示します。

同様に[ズームプリントへ]ボタンは、「デジアーズームプリントDX」または「デジアーズームプリントS」がご利用のパソコンにインストールされている場合、このボタンをクリックすると、「デジアーズームプリントDX」または「デジアーズームプリントS」に起動します。

④「スライドショーの出力先指定」ウインドウが起動します。

このウインドウ中央の画像ツリーより、スライドショーを「保存する場所」を指定して下さい。



■スライドショーの出力について

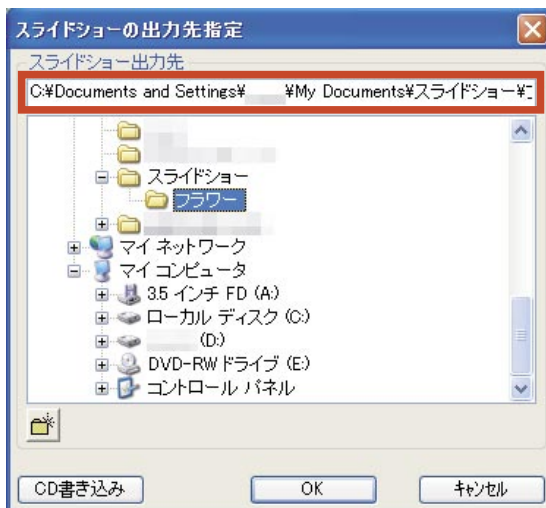
スライドショーの出力では、スライドショーに使用する画像



やこれらを管理するプログラムなど、複数のファイルを出力します。

このため、保存場所として「新しいフォルダ」を作成し、作成されたフォルダへ出力するファイルをまとめて保存することをお勧めします。

⑤「保存する場所」を指定すると、指定した場所が「スライドショー出力先」の項目名の下に表示されますので、ご確認ください。



⑥ [OK] ボタンをクリックすると、出力を実行します。



■スライドショーの起動について

作成したスライドショーを起動するには、作成したスライドショーの保存場所を開き、「dcshow.exe」ファイルをダブルクリックして下さい。

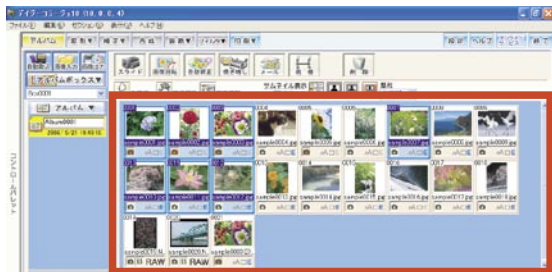
なお作成したスライドショーは、「デジコラージュ 10」のインストールされていないパソコンでも単体のプログラムとしてご利用することが出来ます。

この際には、ここで保存した全てのファイルを使用するパソコンに保存して、保存したファイルの中の「dcshow.exe」ファイルをダブルクリックして下さい。

また、CD-R/CD-RW を使って、作成したスライドショーをCD-ROMに保存する場合には、ここで保存した全てのファイルをCD-ROMに保存して下さい。ファイルを保存したCD-ROMをパソコンに挿入すると、自動的にスライドショーが起動します。

3. 編集した画像をスクリーンセーバーに設定する

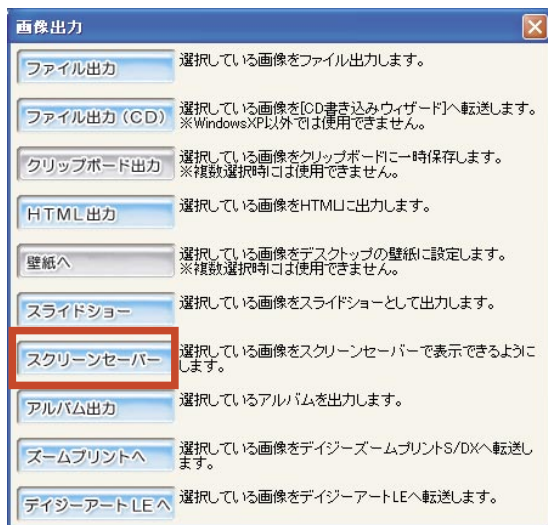
①アルバムサムネイル一覧から、スクリーンセーバーに設定するサムネイル(画像)を全てクリックして下さい。



② [画像出力] ボタンをクリックして下さい。



③ 「画像出力」ダイアログが起動します。
[スクリーンセーバー] ボタンをクリックして下さい。

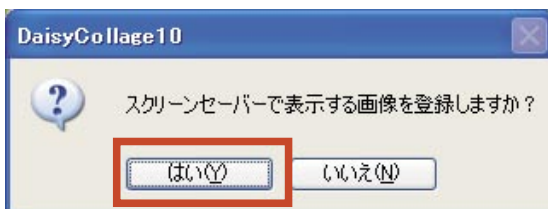


■表示されるボタンについて

「デ이지ーアート LE」がご利用のパソコンにインストールされている場合、[デ이지ーアート LEへ] ボタンをクリックすると、選択された画像を「デ이지ーアート LE」を起動して表示します。

同様に[ズームプリントへ] ボタンは、「デ이지ーズームプリント DX」または「デ이지ーズームプリント S」がご利用のパソコンにインストールされている場合、このボタンをクリックすると、「デ이지ーズームプリント DX」または「デ이지ーズームプリント S」に起動します。

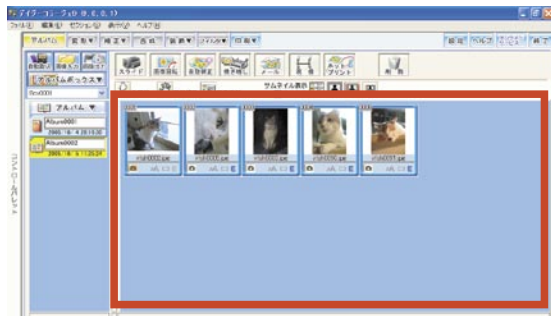
④確認メッセージが表示されますので、[はい] ボタンをクリックして下さい。



⑤ 「デ이지ーコラージュ 10」のスクリーンセーバー「デ이지ーコラージュ 10 スライドショー」の収録画像が設定された画像に変更されます。
※「デ이지ーコラージュ 10 スライドショー」を Windows のスクリーンセーバーとして設定する操作につきましては、Windows の操作となりますため、ご利用のパソコンの説明書及び Windows のマニュアルをご覧ください。

4. 編集した画像をメールに添付する

①アルバムサムネイル一覧から、メールに添付するサムネイル(画像)を全てクリックして下さい。



②[メール]ボタンをクリックして下さい。



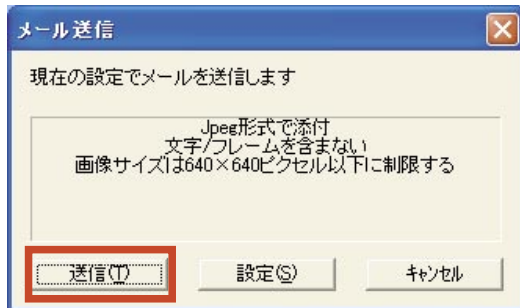
■メール送信について

「デジコラージュ 10」で、「メール送信」機能を利用するには、Microsoft社の「Outlook Express6」や「Outlook2000」などのMAPIに対応したメールソフトが通常使用するメールソフトとして、設定されている必要があります。

■MAPIとは・・・

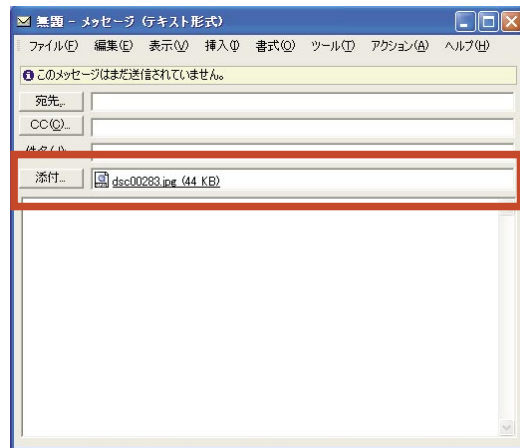
「Message Application Programming Interface」の略称で、メールソフトの持つメールの送受信機能を他のプログラムでも利用できるように用意されたプログラム同士の操作のことです。

③「メール送信」ウインドウが表示されます。
[送信]ボタンをクリックして下さい。



④メールソフトから、選択した画像が添付された状態で新しいメッセージウインドウが起動されます。

メールの「宛先」や「件名」などの必要事項を入力して、メール送信の操作を行って下さい。※新しいメッセージウインドウからの操作につきましては、ご利用のメールソフトの操作となりますので、ご利用のメールソフトのマニュアルをご覧ください。



Ⅲ. 変形カテゴリを活用しよう

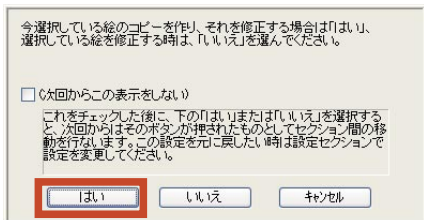
ここでは、「デジコラージュ 10」の変形カテゴリで操作できる画像の回転、トリミング及び解像度変換 (画像サイズの変更) の操作をご案内します。

■セクション移動時の注意点

画像の加工・編集を目的としたセクションへ移動する際に、設定により下記メッセージが表示されます。

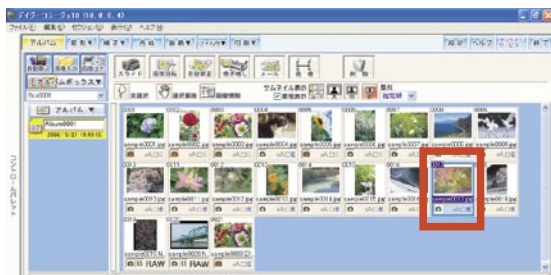
「デジコラージュ 10」では、画像に操作を行うとその内容は自動的に上書きして保存します。

このため、原画を残す場合には、下記メッセージにて [はい] を選択し、コピー画像を作成して操作を行うようにして下さい。



1.L判用紙サイズへ画像を切り抜く

① アルバムサムネイル一覧から、切り抜きを行うサムネイル (画像) をクリックして下さい。



② [変形] ボタンをクリックして下さい。



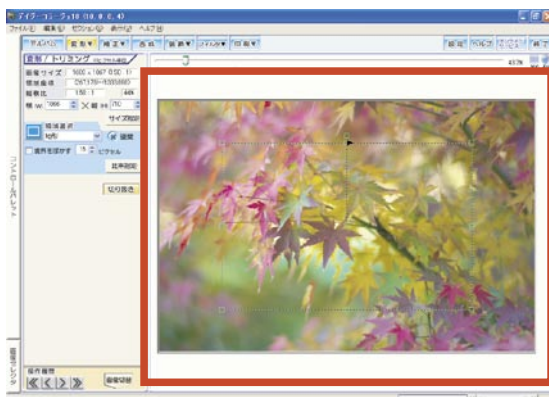
③ 「セクション選択」画面が表示されます。
[トリミング] をクリックして下さい。



④ 画像の切り抜きを行うトリミングセクションへ移動します。

トリミングセクションに移動した直後には、キャンバスの画像上に矩形の領域選択枠が表示されています。

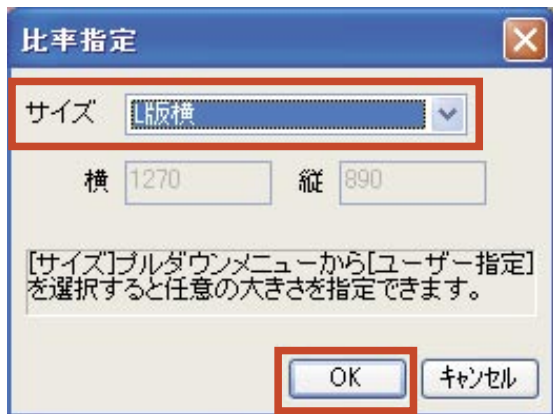
今回は L判用紙サイズへ画像を切り抜くので、このままこの矩形の領域選択枠を使用します。



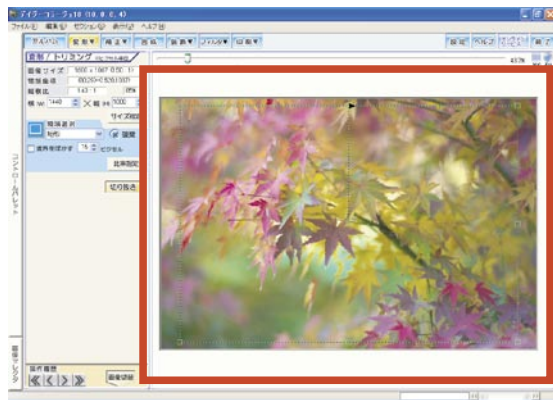
- ⑤サイズの設定を行います。
[比率指定] ボタンをクリックして下さい。

比率指定

- ⑥「比率指定」ウィンドウが表示されます。
プルダウンメニューを使って、「サイズ」項目へ「L判横(または縦)」を指定して、[OK] ボタンをクリックして下さい。

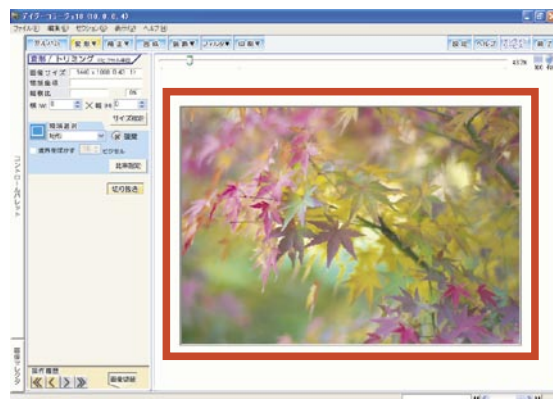


- ⑦トリミングセクションの操作画面に戻ります。
キャンバスの画像上の領域選択枠が、指定されたサイズに変換されて表示されます。
切り抜きたい範囲をこの枠内に収めるように、枠の位置をドラッグで調整して下さい。



- ⑧ [切り抜き] ボタンをクリックすると、切り抜きを実行します。

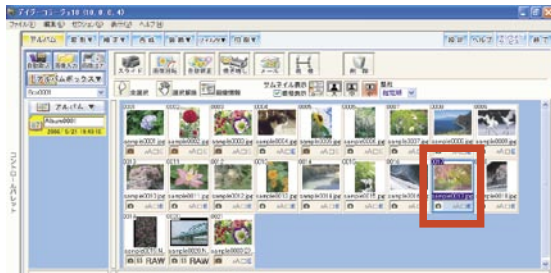
切り抜き



20 変形カテゴリを活用しよう

2. 画像を回転する

①アルバムサムネイル一覧から、回転を行うサムネイル(画像)をクリックして下さい。



②[変形] ボタンをクリックして下さい。

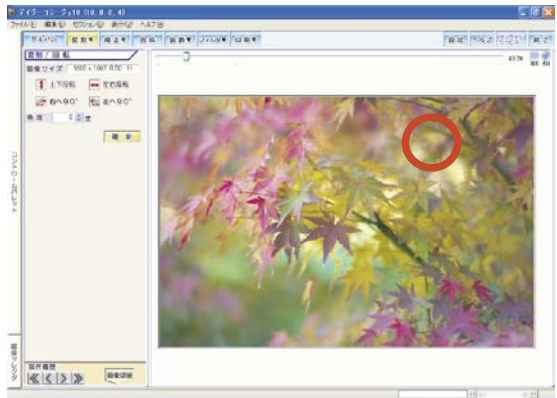


③「セクション選択」画面が表示されます。
[回転] をクリックして下さい。

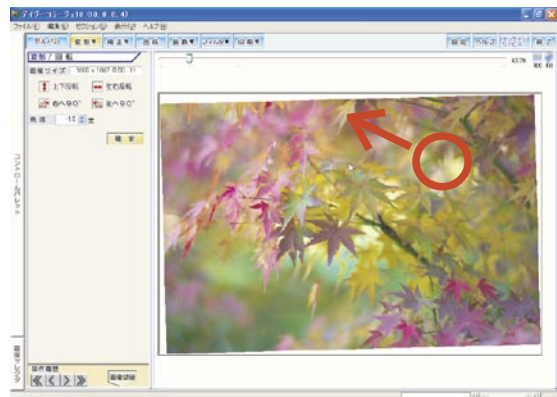


④画像の回転を行う回転セクションへ移動します。

キャンバスの画像上にマウスポインタを合わせます。



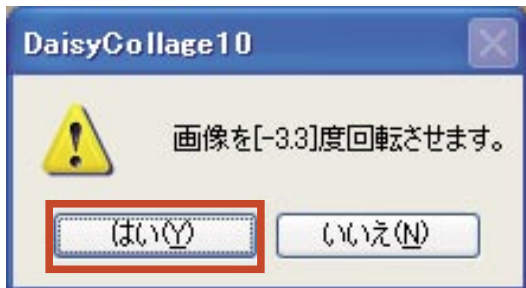
⑤画像をドラッグすると角度が変化します。
調整したい角度へ、調整を行って下さい。



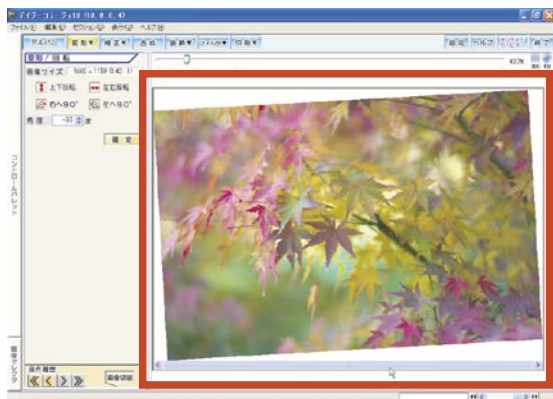
⑥画像の角度が調整できたら、[確定] ボタンをクリックして下さい。



⑦確認メッセージが表示されますので、[はい] ボタンをクリックして下さい。



⑧調整した角度に画像が固定されます。



■角度を「0」に戻すには・・・

画面左手のコントロールパレットの「角度」項目を「0」度にする、と、回転された画像が元の角度に変化します。

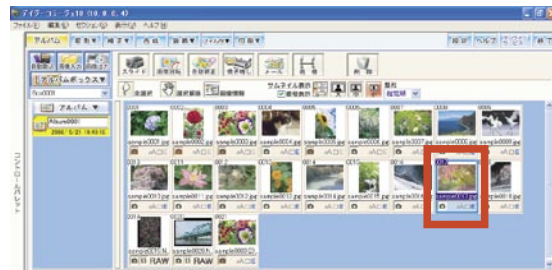


※1 設定したい角度が決まっている場合には、この「角度」項目へその角度を入力して、直接数値で角度を指定することも出来ます。

※2 数値は半角数字で入力して下さい。

3. 画像サイズを変更する (解像度変換)

①アルバムサムネイル一覧から、画像サイズを変更するサムネイル (画像) をクリックして下さい。



② [変形] ボタンをクリックして下さい。

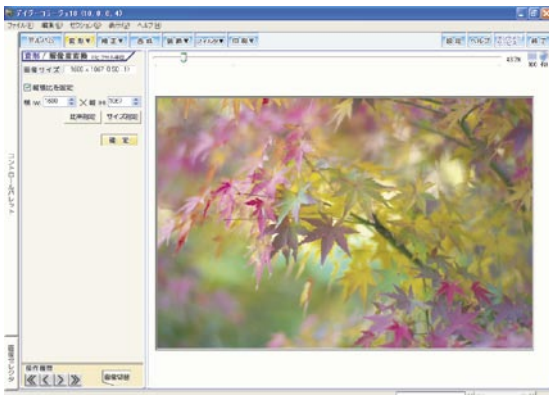


③ 「セクション選択」画面が表示されます。 [解像度変換] をクリックして下さい。



22 変形カテゴリを活用しよう

④画像のサイズを変更する解像度変換セクションへ移動します。



⑤今回は、[サイズ指定] 機能を使って、画像を

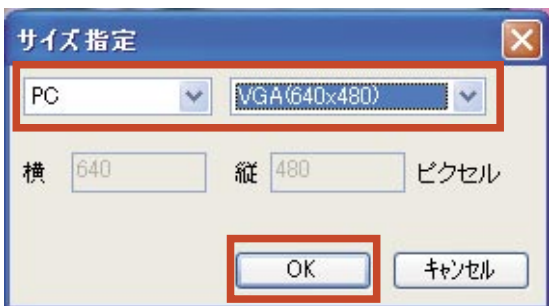
サイズ指定

「VGA(640 × 480)」サイズに変換します。

[サイズ指定] ボタンをクリックして下さい。

⑥「サイズ指定」ウインドウが表示されます。

プルダウンメニューを使って、「PC」項目を設定の上、「VGA(640 × 480)」を指定して、[OK] ボタンをクリックして下さい。

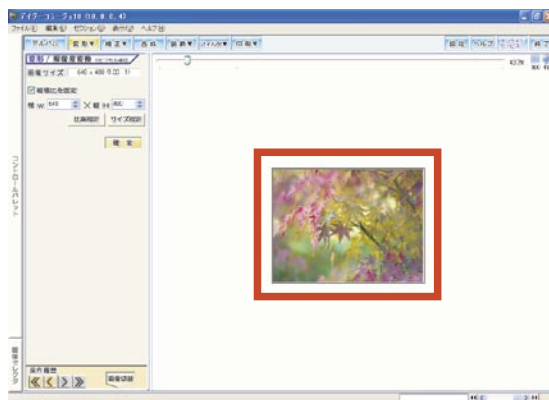


⑦解像度変換セクションの操作画面に戻ります。

指定した「VGA(640 × 480)」の数値が、エディットコントロールに反映されます。



⑧ [確定] ボタンをクリックすると、解像度変換を実行します。



Ⅳ. 補正カテゴリを活用しよう

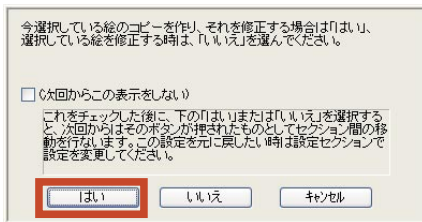
ここでは、「デジコラージュ 10」の補正カテゴリで操作できる画像の色補正を中心に操作をご案内します。

■セクション移動時の注意点

画像の加工・編集を目的としたセクションへ移動する際に、設定により下記メッセージが表示されます。

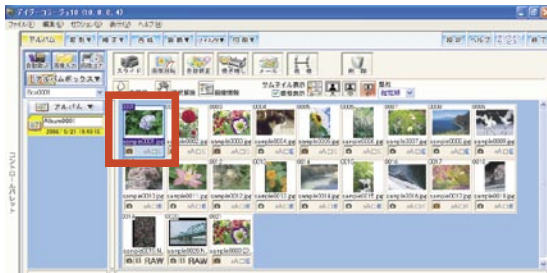
「デジコラージュ 10」では、画像に操作を行うとその内容は自動的に上書きして保存します。

このため、原画を残す場合には、下記メッセージにて[はい]を選択し、コピー画像を作成して操作を行うようにして下さい。



1. 画像全体を自動で補正する

① アルバムサムネイル一覧から、色補正を行うサムネイル (画像) をクリックして下さい。



② [補正] ボタンをクリックして下さい。

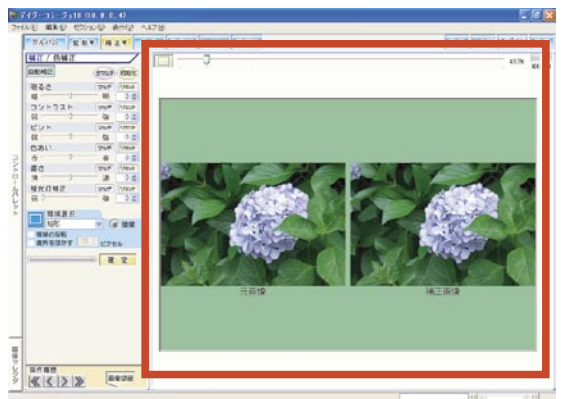


③ 「セクション選択」画面が表示されます。
[色補正] をクリックして下さい。



④ 画像の総合的な色補正を行う色補正セクションへ移動します。

色補正セクションへ移動した直後は、ここで操作した画像の状態を比較できるように、「元画像」と「補正画像」が並んで表示されます。



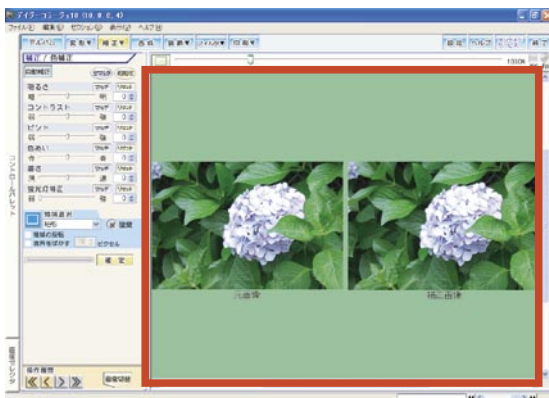
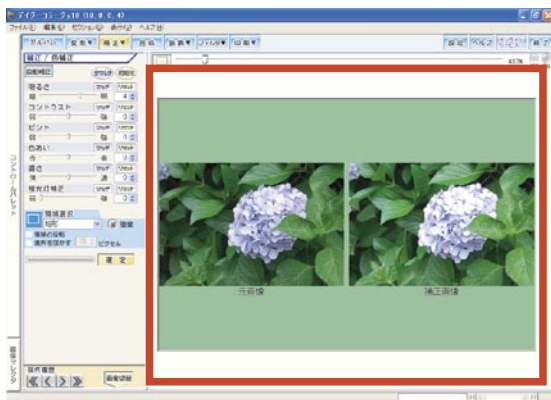
24 補正カテゴリを活用しよう

- ⑤ [自動補正] ボタンをクリックして
下さい。

自動補正

- ⑥ 「補正画像」に、自動補正を実行した状態が
反映されます。

設定した補正内容が確定すると、「元画像」に
その内容が反映され、「元画像」と「補正画像」
は同じ状態になります。



■自動補正機能について

「デイジーコラージュ 10」には、画像の被写体を認識し、画像の色素や明るさなどの傾向から、自動的に被写体が最も美しく見える補正值を算出して、算出した補正值に補正を実行する「IR(Image Recognition)補正」機能が実装されています。

[自動補正] ボタンをクリックすると、その時点で選択されている画像にこの「IR自動補正」機能を反映させます。

- ⑦ [確定] ボタンをクリックすると、自動補正を実行
します。

確定

2. 補正パターンを選んで補正する

①アルバムサムネイル一覧から色補正を行うサムネイル(画像)を選択してから、[補正]ボタンをクリックして下さい。

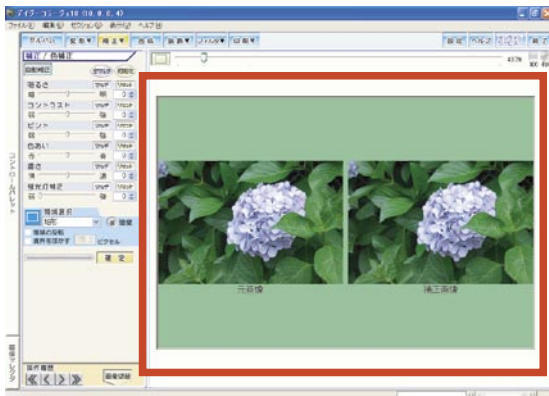


②「セクション選択」画面が表示されます。
[色補正]をクリックして下さい。



③画像の総合的な色補正を行う色補正セクションへ移動します。

色補正セクションへ移動した直後は、ここで操作した画像の状態を比較できるように、「元画像」と「補正画像」が並んで表示されます。



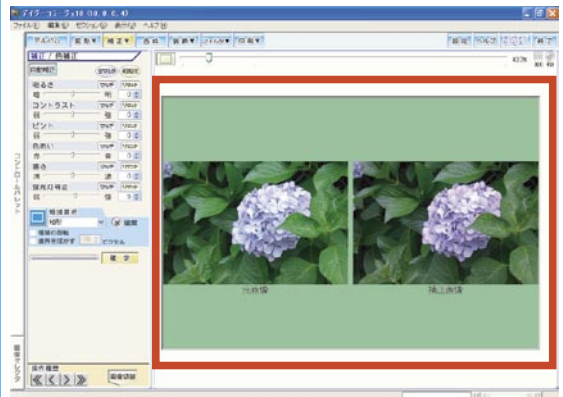
④[全マルチ]ボタンをクリックして下さい。



⑤「マルチ選択」ウインドウが表示されます。
補正するパターンの画像ボタンを選択して、[OK]ボタンをクリックして下さい。



⑥「補正画像」に、選択された補正パターンを実行した状態が反映されます。

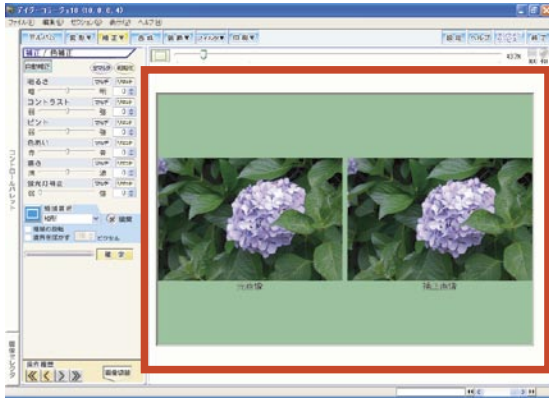


26 補正カテゴリを活用しよう

⑦ [確定] ボタンをクリックすると、補正を実行します。



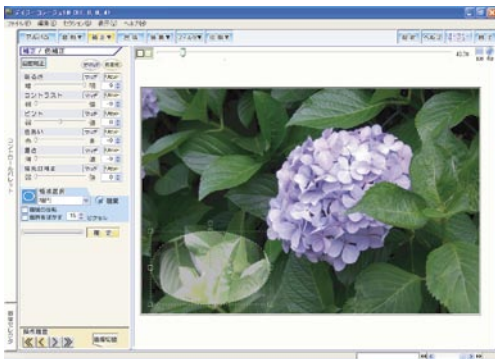
設定した補正内容が確定すると、「元画像」にその内容が反映され、「元画像」と「補正画像」は同じ状態になります。



■領域選択を使った補正

画像上で領域選択をしてから補正を実行すると、選択した範囲のみへ補正を行うことも出来ます。

※領域選択を操作する場合には、「1枚モード」へ変更してから、操作を行ってください。



3. ホワイトバランスを調整する

■ホワイトバランスとは・・・

撮影条件によっては、写真が黄色掛かったり、青み掛かったりすることがあります。

このような写真で、実際に白かった部分を白くするように、色のバランスを調整する操作です。

①アルバムサムネイル一覧から操作を行うサムネイル(画像)を選択してから、[補正] ボタンをクリックして下さい。



②「セクション選択」画面が表示されます。[トーンカーブ] をクリックして下さい。



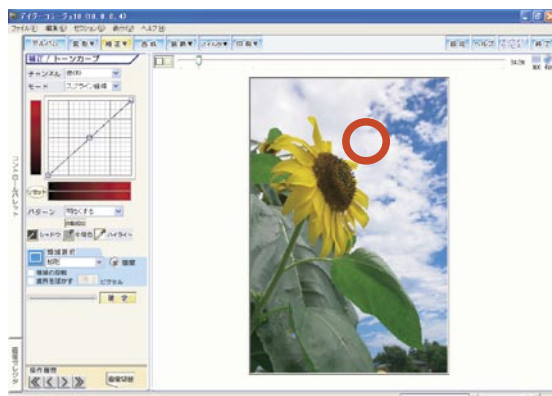
③トーンカーブ セクションへ移動します。トーンカーブ セクションへ移動した直後は、ここで操作した画像の状態を比較できるように、「元画像」と「補正画像」が並んで表示されます。

今回は、[色指定] ボタンを使った操作を行います。

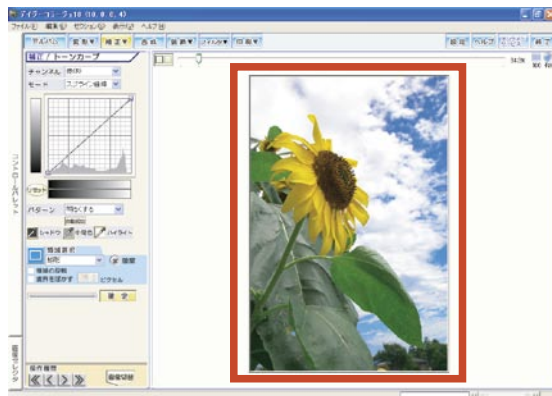
[1枚モード] ボタンをクリックして下さい。



④ [ハイライト] ボタンをクリックしてから、キャンバス上の画像上で、白くしたい部分をクリックして下さい。



⑤ [確定] ボタンをクリックすると、補正内容を確定します。

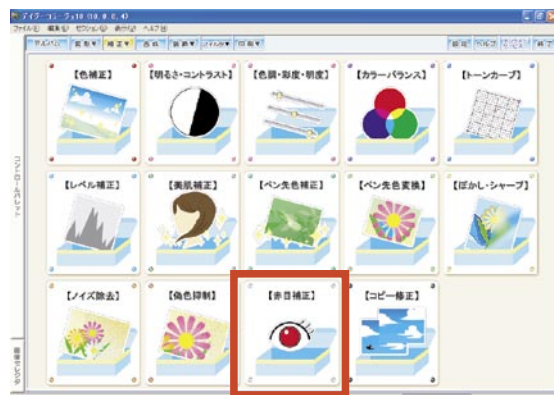


4. 赤目を補正する

① アルバムサムネイル一覧から赤目補正を行うサムネイル (画像) を選択してから、[補正] ボタンをクリックして下さい。

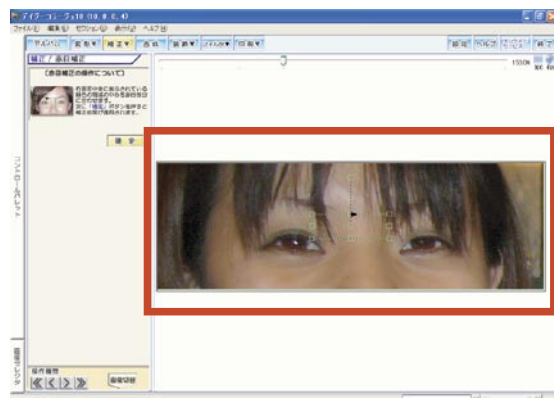
補正▼

② 「セクション選択」画面が表示されます。
[赤目補正] をクリックして下さい。



③ 赤目補正セクションへ移動します。

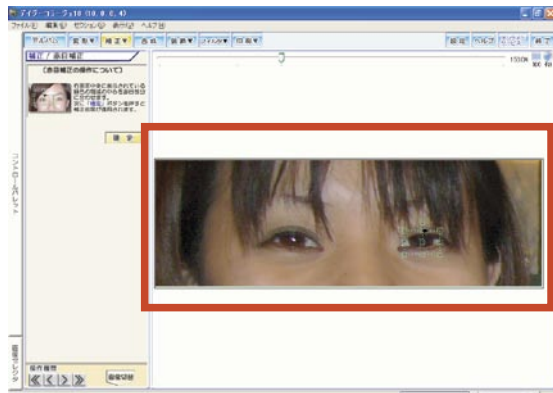
赤目補正セクションへ移動した直後は、キャンバスの画像の中央に領域選択枠が表示されます。



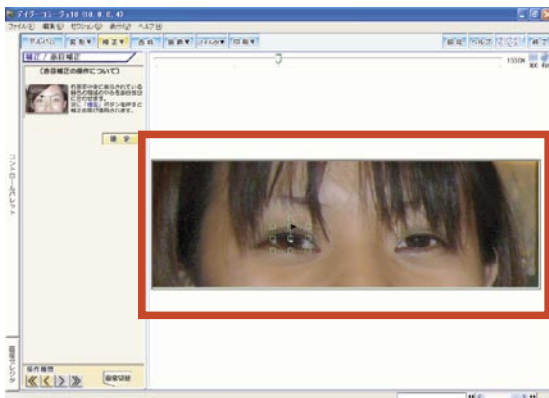
28 補正カテゴリを活用しよう

④領域選択枠が目全体を囲むように位置と大きさをドラッグで調整して下さい。

またこの際に領域選択枠の中心の四角が片方の目の中心に位置するようにして下さい。



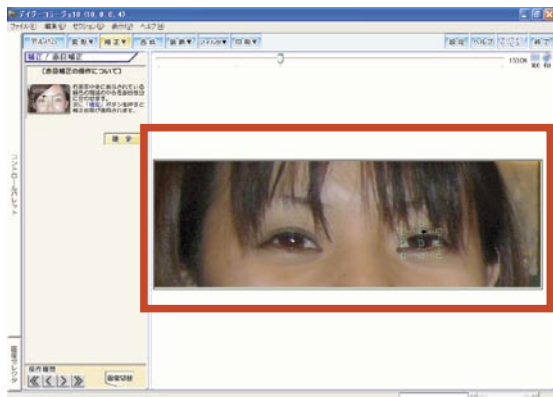
⑥同様にもう片方の目の補正を実行して下さい。



⑤領域選択枠の位置と大きさが調整されると、補正が反映されます。

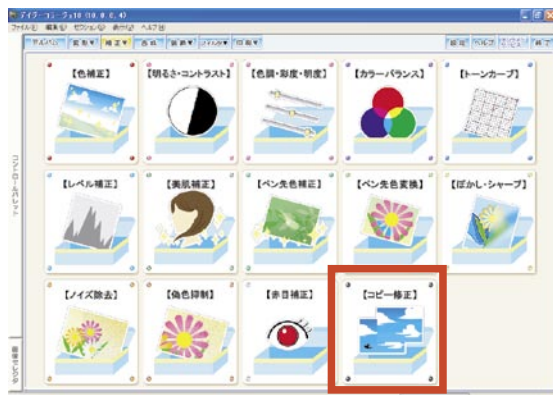


[確定] ボタンをクリックして、補正を確定して下さい。

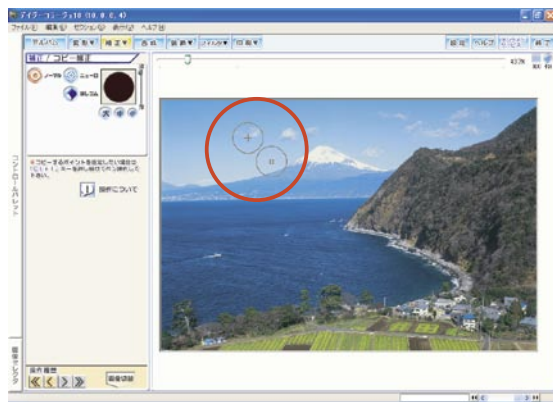


5. 不要な部分を消去する

- ①アルバムサムネイル一覧から操作を行うサムネイル(画像)を選択してから、[補正]ボタンをクリックして下さい。
- ②「セクション選択」画面が表示されます。
[コピー修正]をクリックして下さい。



- ③コピー修正セクションへ移動します。
キャンバス上にマウスポインタを合わせると、2つの円が表示されます。



■それぞれの円の役割

A. コピー元

円の中心が「+」になっている円の範囲をプログラムが読み取ります。

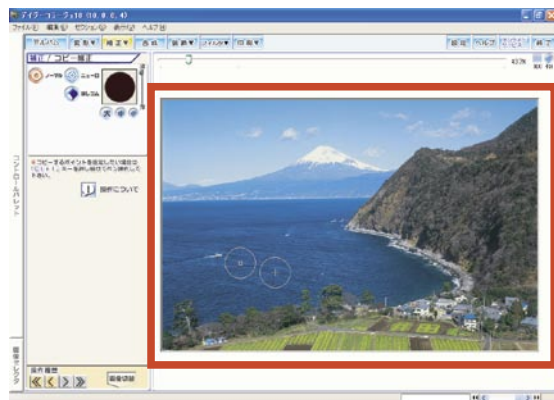


B. コピー先

円の中心が四角になっている円の範囲へ、コピー元から読み取った部分をペンでなぞるように描画します。

- ④キーボードの[CTRL]キーを押さえると、[CTRL]キーを押さえている間、Aがその場所に静止します。

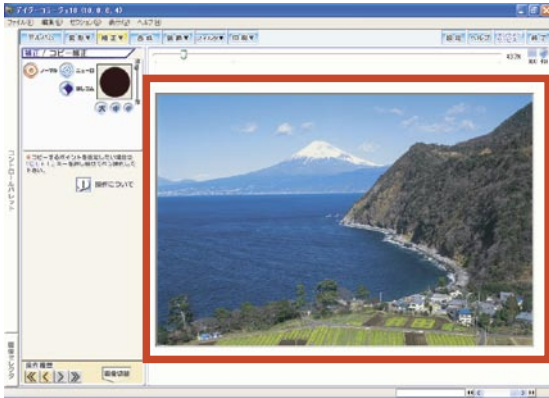
修正を行う方向に合わせて、Aを静止させた状態でドラッグを行い、Bの位置を調整して下さい。



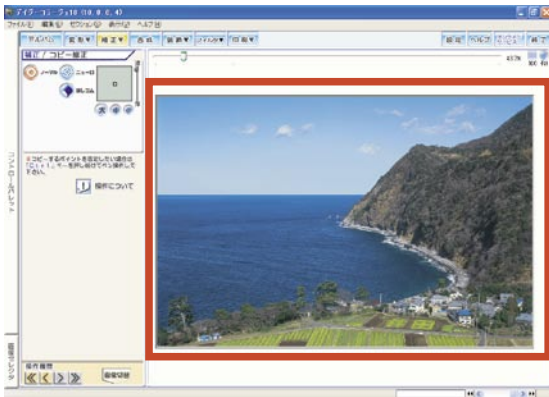
30 補正カテゴリを活用しよう

⑤コピー修正を実行します。

[CTRL] キーから指を離して、消去したい部分をドラッグして下さい。



⑥操作後に、アルバムセクションなど、他のセクションに移動すると、画像が自動保存されます。

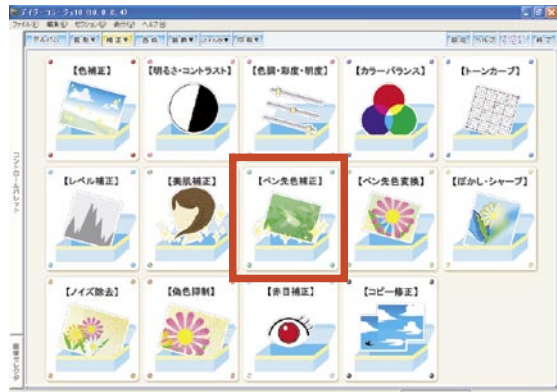


6. 複雑な範囲を補正する

①アルバムサムネイル一覧から操作を行うサムネイル(画像)を選択してから、[補正] ボタンをクリックして下さい。

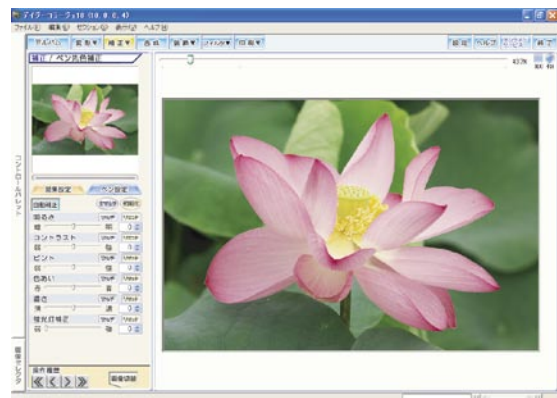


②「セクション選択」画面が表示されます。
[ペン先色補正] をクリックして下さい。

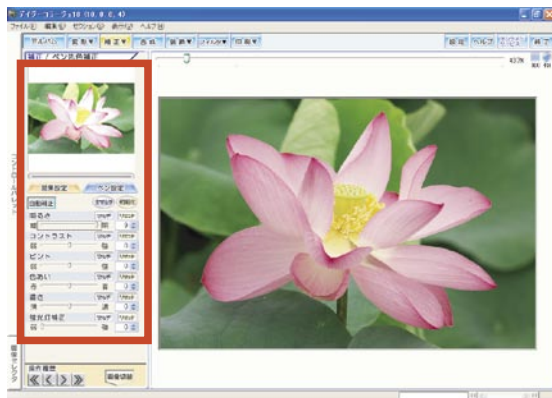


③ペン先色補正セクションへ移動します。

ペン先色補正セクションに移動した直後には、まず補正する状態を設定するための「効果設定」画面が表示されます。



④画面左手のコントロールパレット上部のプレビューを確認しながら、各パラメータを調整して下さい。



⑤次に効果を反映させます。

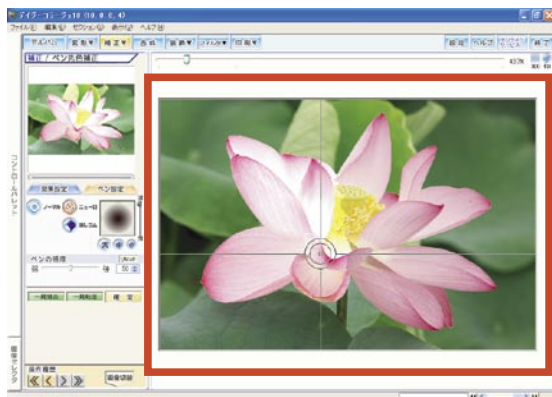


[ペン設定] ボタンをクリックして、「ペン設定」画面に切り替えて下さい。

⑥今回は、花の部分のみ補正を行います。



ペンの種類に「ニューロ」が設定されていることを確認してから、花の部分をドラッグして下さい。

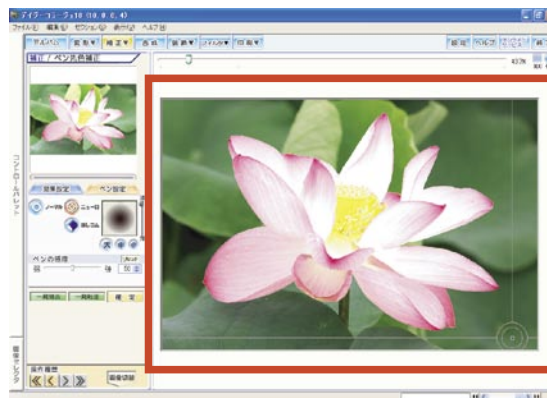


■ニューロ機能について

ペン先となる円が配置された範囲をプログラムが認識し、その範囲だけに効果を反映させる機能です。

操作の際には、その範囲を判別しながら動作しますので、ややゆっくりとドラッグして下さい。

⑦ [確定] ボタンをクリックすると、補正内容を確定します。



V. 合成に挑戦しよう

複数の画像を組み合わせて、新たな画像を作成する合成を、「デ이지ーコラージュ 10」なら絵を描くように操作することが出来ます。ここでは、その「デ이지ーコラージュ 10」の合成の操作をご案内します。

■セクション移動時の注意点

画像の加工・編集を目的としたセクションへ移動する際に、設定により下記メッセージが表示されます。

「デ이지ーコラージュ 10」では、画像に操作を行うとその内容は自動的に上書きして保存します。

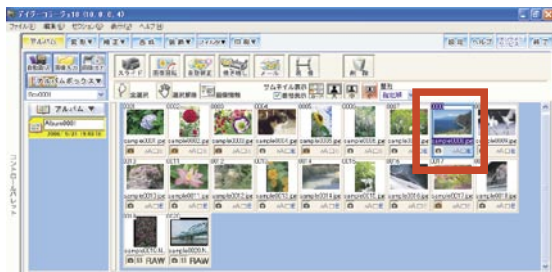
このため、原画を残す場合には、下記メッセージにて[はい]を選択し、コピー画像を作成して操作を行うようにして下さい。

今選択している絵のコピーを作り、それを修正する場合は「はい」、
選択している絵を修正する時は、「いいえ」を選んでください。

(1) 次回からこの表示をしない)

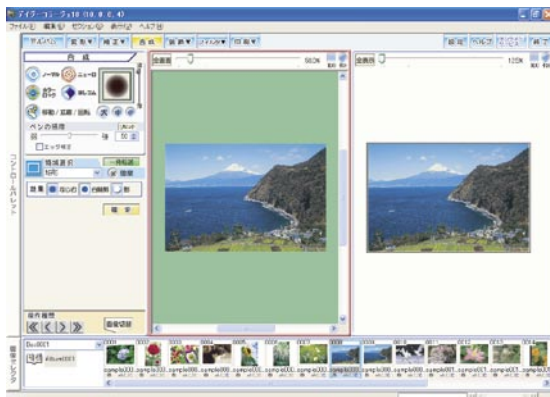
これをチェックした後、下の「はい」または「いいえ」を選択すると、次回からはそのボタンが押されたものとしてセクション間の移動を行います。この設定を元に戻したい時は設定セクションで設定を変更してください。

①アルバムサムネイル一覧から、背景とするサムネイル(画像)をクリックして下さい。



② [合成] ボタンをクリックして下さい。

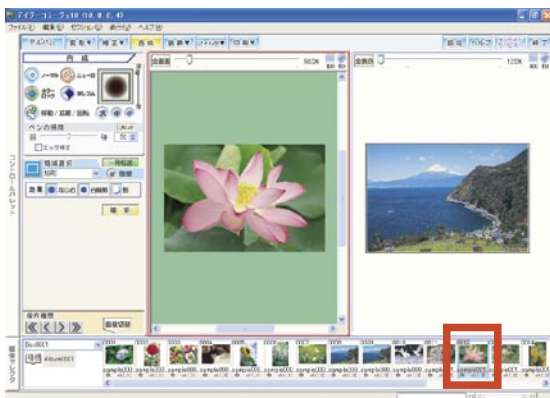
③合成セクションへ移動します。



④背景の画像に重ねる被写体となる画像を選択します。

画面下部の画像セレクタより、被写体となる画像のサムネイルをクリックして下さい。

選択された画像が、画面中央に表示されます。



⑤右側に表示されている背景画像より、画面中央の被写体画像の方が大きく表示された場合には、[fit] ボタンをクリックして被写体画像の大きさを調整して下さい。



⑥まず被写体画像をだまかに合成するため、ペンの種類を「ノーマル」ペンの状態に設定します。



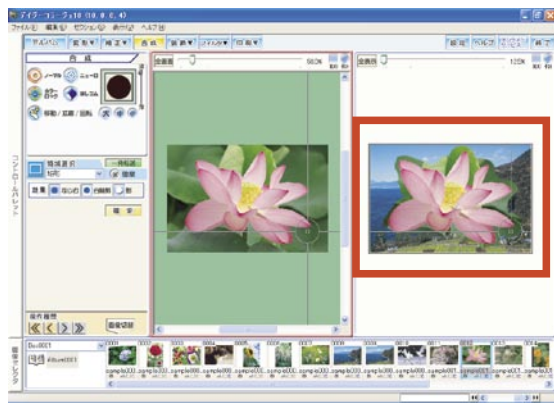
[ノーマル]ペンボタンをクリックして下さい。

⑦画面右手の背景画像にマウスポインタを合わせると、マウスポインタを囲むように○が表示されます。これと同時に被写体画像の上にも○が表示されます。

被写体(ここでは「花」の部分になります。)の中央に○が位置するように、背景画像の上でマウスポインタの位置を調整して下さい。

○の位置が調整できたら、背景画像のその位置から左ドラッグをして下さい。

○の中心から、被写体画像が現れますので、そのまま被写体全体を背景画像にペンで描くように合成を行って下さい。



⑧次にはみ出した部分を消去します。

マウスから指を離して、[ニューロ]ペンボタンをクリックして下さい。

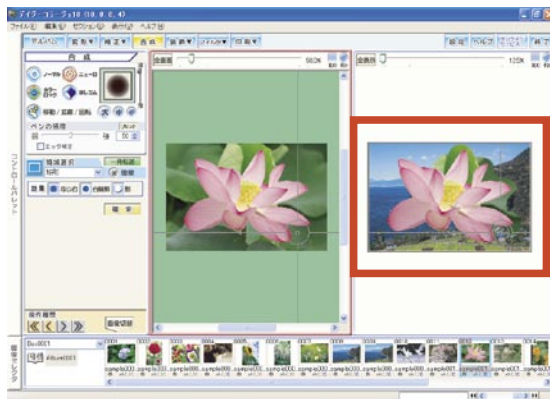


⑨画面右手の背景画像にマウスポインタを合わせると、マウスポインタを囲むように◎が表示されます。

はみ出した部分にマウスポインタを合わせて、ここからゆっくりと右ドラッグをして下さい。

「ニューロ」ペンの機能により、はみ出した部分だけをプログラムが認識して消去します。

※被写体とはみ出した部分との色合いが近い場合には、認識が上手く出来ないことがあります。この際には、「ペンの感度」を強く設定して操作を行って下さい。



⑩次に合成した画像の位置を調整します。

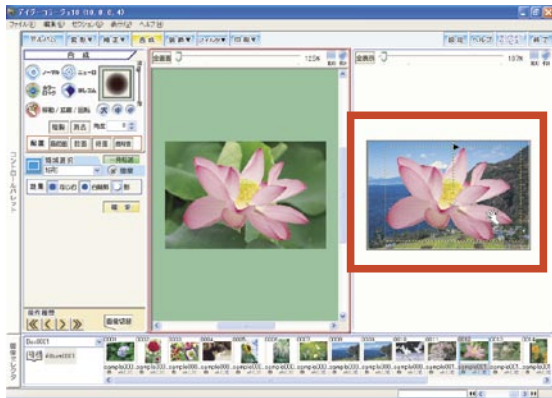
マウスから指を離して、[移動・拡縮・回転]ボタンをクリックして下さい。



34 合成に挑戦してみよう

⑩ [移動・拡大・回転] ボタンをクリックすると、合成後の被写体画像を囲むように、黄色い点線の枠が表示されます。

この枠の中にマウスポインタを合わせて、左ドラッグをすると、合成後の被写体画像の位置を調整することが出来ます。



⑩ 合成後の被写体画像と背景画像の境をややぼかして、仕上がりを自然なものにします。

画像の状態を確認しながら、[なじむ] ボタンをクリックして下さい。

※ [なじむ] ボタンはクリックするごとに、合成後の被写体画像と背景画像の境をより強くぼかします。

⑪ 画像の出来上がりを確認します。

画面右手の背景画像の左上角にある [全表示] ボタンをクリックして下さい。



⑫ 画面いっぱいに出るまでの画像が表示されます。

確認が出来たら、画像をクリックして、合成セクション画面に戻して下さい。



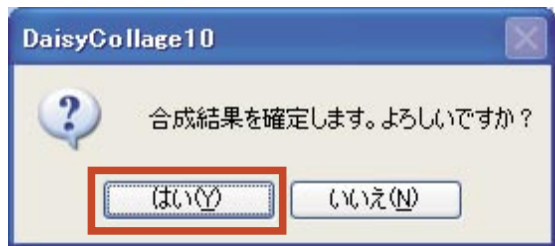
⑫ 追加の操作を行う場合には、ここから再度調整を行って下さい。



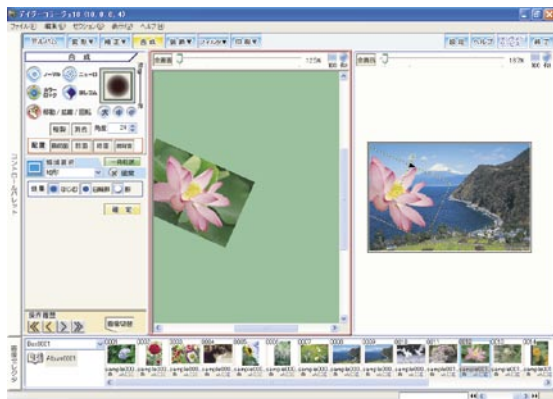
ここまでの操作を保存場合には、[確定] ボタンをクリックして下さい。

⑬ 確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックして下さい。



⑭アルバムセクションなど、他のセクションに移動すると、画像が自動保存されます。



VI. 装飾セクションを活用しよう

装飾セクションでは、画像にフレームを付ける、スタンプを押す、文字を入力するなど、様々な装飾を行うことができます。

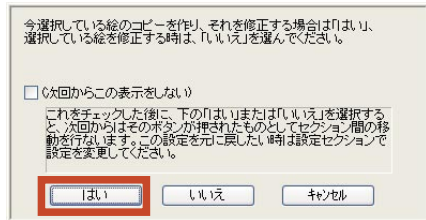
ここでは、その「デ이지ーコラージュ 10」の装飾の操作をご案内します。

■セクション移動時の注意点

画像の加工・編集を目的としたセクションへ移動する際に、設定により下記メッセージが表示されます。

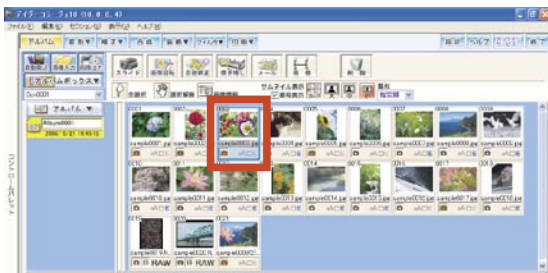
「デ이지ーコラージュ 10」では、画像に操作を行うとその内容は自動的に上書きして保存します。

このため、原画を残す場合には、下記メッセージにて「はい」を選択し、コピー画像を作成して操作を行うようにして下さい。



1. 装飾セクションへ移動する

① アルバムサムネイル一覧から、操作を行うサムネイル(画像)をクリックして下さい。



② [装飾] ボタンをクリックして下さい。



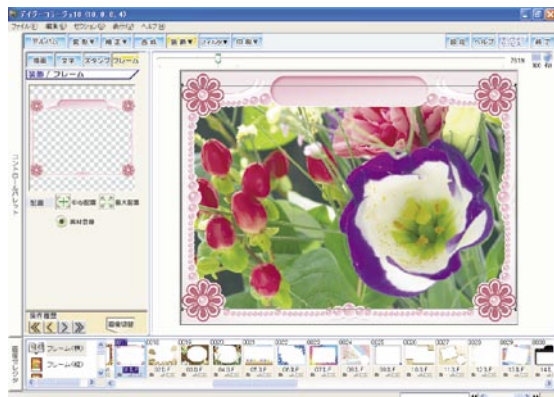
③ 「セクション選択」画面が表示されます。

今回はまず画像にフレームを付けますので、[フレーム]をクリックして下さい。

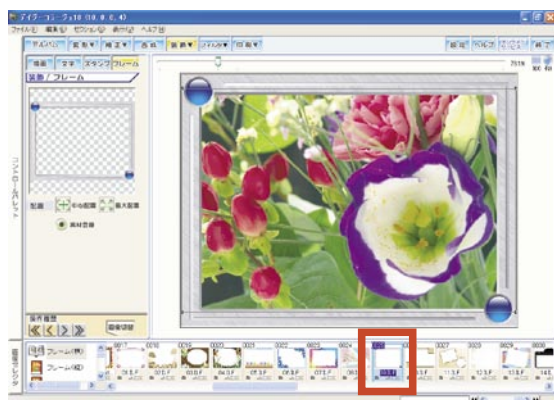


2. フレームを付ける

①フレーム セクションが表示されます。

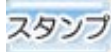


②画面下部の画像セクタから、使用するフレームのサムネイルをクリックして、フレームを付けて下さい。



③次に画像にスタンプを押します。

[スタンプ] ボタンをクリックして下さい。



④確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックして下さい。



3. スタンプを押す

①スタンプ セクションに切り替わります。



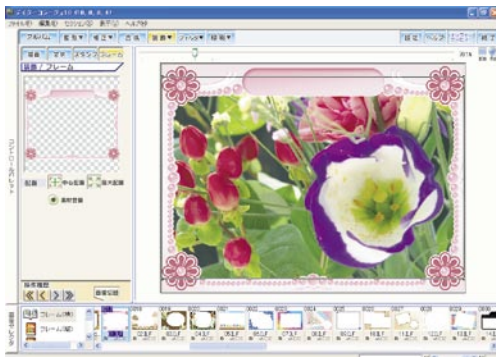
今回はスタンプの種類の内、「コロコロ」スタンプを使用します。

[コロコロ] ボタンをクリックして下さい。

■キャンバスの表示範囲について

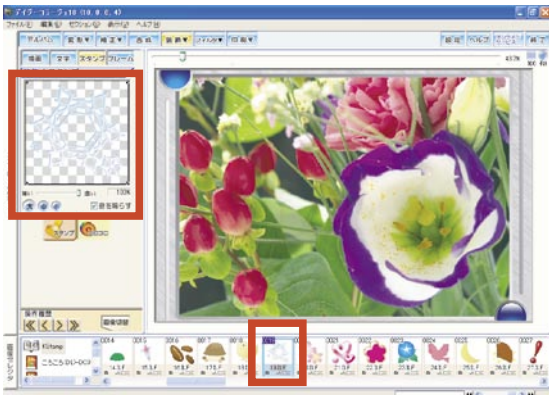
フレーム以外のセクションでは、キャンバス上には、操作の行える元画像の大きさまでしか表示を行いません。

例として、フレーム セクションで下図のように表示されていた場合、その他の装飾セクションでは、フレームの内側の赤い枠線(キャンバス上では、灰色の枠線になります。)の範囲までしか表示されません。



②画面下部の画像セレクトから、使用するスタンプのサムネイルをクリックすると、画面左上角のプレビューに選択したコロコロ スタンプが表示されます。

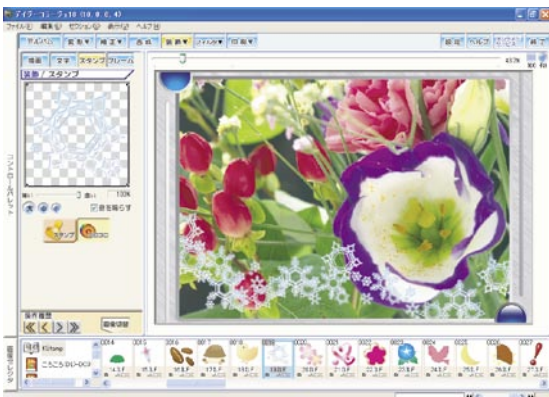
プレビューの下の[大]・[中]・[小]ボタンを使って、スタンプの大きさを調整して下さい。



③大きさが調整できたら、画面右手のキャンバスの画像上で、ペンで線を描くように左ドラッグをして下さい。

スタンプが押されます。

※スタンプは、フレームより下に表示されます。



④次に文字を入力します。

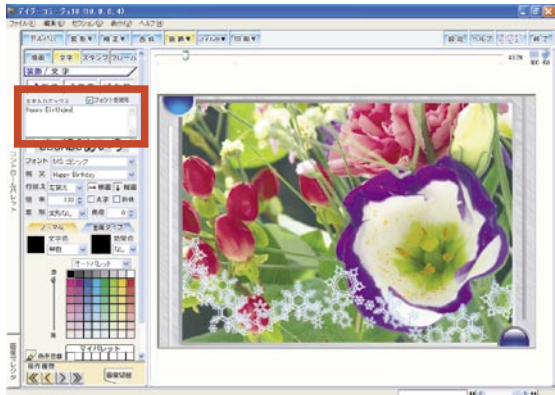
[文字] ボタンをクリックして下さい。



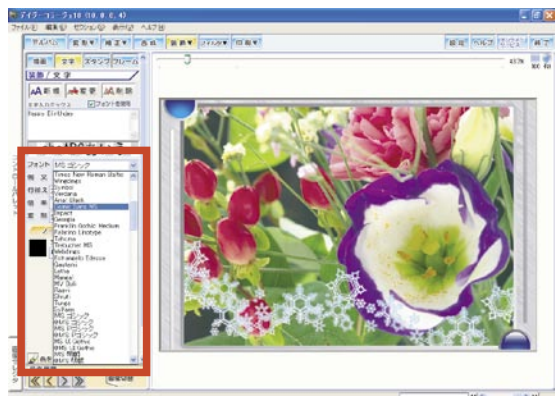
4. 文字を入力する

①文字セクションに切り替わります。

まず表示したい文章を、画面左上角の「文字入力ボックス」へ入力して下さい。



②文章を入力したら、その下に用意されている「フォント(フォントの種類)」・「行揃え」などの項目をそれぞれ設定して下さい。



③文字の色については、黒や赤などの「ノーマル」な色と、金属調の「金属タイプ」を選択することが出来ます。

今回は、金属調の文字を作成しますので、[金属タイプ] ボタンをクリックして下さい。

④金属タイプ ボタン一覧が表示されます。

今回は、「銀」を使用しますので、[銀] をクリックして下さい。

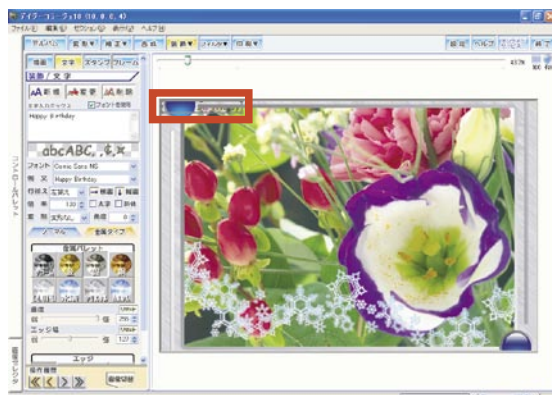


⑤全ての設定が出来たら、今回は新しい文字を作成するので、[新規] ボタンをクリックして下さい。



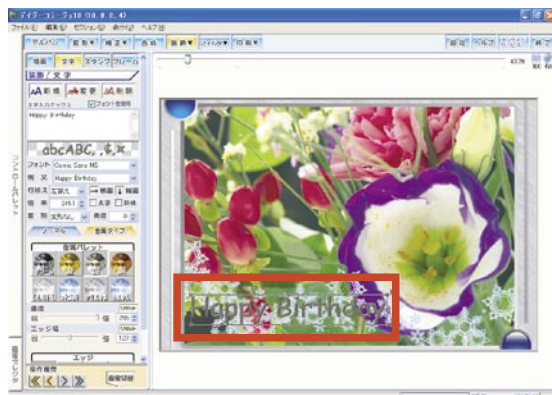
作成された文字が、画面右手のキャンバスの画像の左上角に表示されます。

※文字は、フレームより下に表示されます。このため、今回は下図のように画面上は文字の範囲枠だけが見える状態になります。

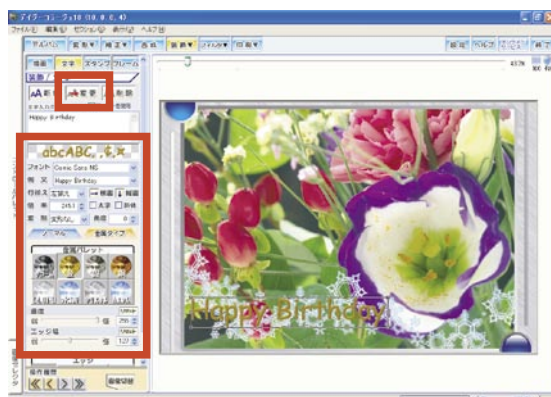


⑥文字の範囲枠の中にマウスポインタを合わせて左ドラッグをすると、文字の位置が移動出来ます。

また、文字の範囲枠上の四角を左ドラッグすると、文字の大きさを調節することが出来ます。文字の位置と大きさを調整して下さい。



⑦文字の設定内容を変更する場合には、変更したい内容を設定してから、[変更] ボタンをクリックして下さい。



⑧最後に文字の背景を、描画セクションで塗りつぶします。



[描画] ボタンをクリックして下さい。

5. 文字の背景を塗りつぶす

①描画セクションに切り替わります。

今回は文字を囲むように、楕円形の背景を作成します。

領域選択を行うための領域選択枠の種類を指定しますので、[ルーラー選択] ボタンをクリックして下さい。

②「ルーラー選択」ダイアログが表示されます。

[楕円] ボタンをクリックして下さい。



③オートパレットから、使用する色のマスをクリックして、色を選択して下さい。

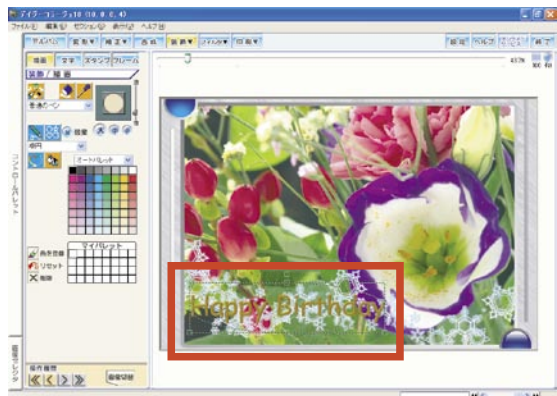


④選択した色の濃度を調整します。

「濃～薄」のスライダーを調整して、塗りつぶす色の濃さを調整して下さい。



⑤文字のやや左上から、文字の右下に対角線を引くように左ドラッグをして、文字を囲むように楕円の領域選択をして下さい。



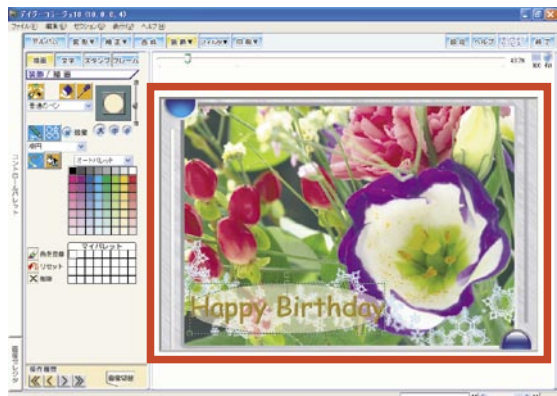
⑥[流し込み] ボタンをクリックして、領域選択枠内を塗りつぶして下さい。



⑦最後に、[破棄] ボタンをクリックして、領域選択枠を解除し、全体の出来上がりを確認して下さい。



操作後に、アルバムセクションなど、他のセクションに移動すると、画像が自動保存されます。



VII. フィルタカテゴリを活用しよう

「デジコラージュ 10」では、「モザイク」や「クロスフォーカス」などのフィルタを掛けることによって、画像を様々に加工することが出来ます。

ここでは、フィルタカテゴリで操作できる加工処理を中心に操作をご案内します。

■セクション移動時の注意点

画像の加工・編集を目的としたセクションへ移動する際に、設定により下記メッセージが表示されます。

「デジコラージュ 10」では、画像に操作を行うとその内容は自動的に上書きして保存します。

このため、原画を残す場合には、下記メッセージにて「はい」を選択し、コピー画像を作成して操作を行うようにして下さい。

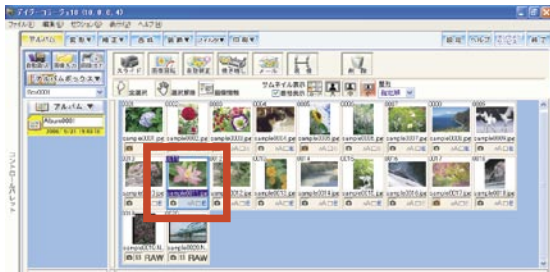
今選択している絵のコピーを作り、それを修正する場合は「はい」、
選択している絵を修正する時は、「いいえ」を選んでください。

次回からこの表示をしない

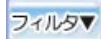
これをチェックした後に、下の「はい」または「いいえ」を選択すると、次回からはそのボタンが押されたものとしてセクション間の移動を行います。この設定を元に戻したい時は設定セクションで設定を変更してください。

1. 領域を選択して操作する

① アルバムサムネイル一覧から、操作を行うサムネイル (画像) をクリックして下さい。

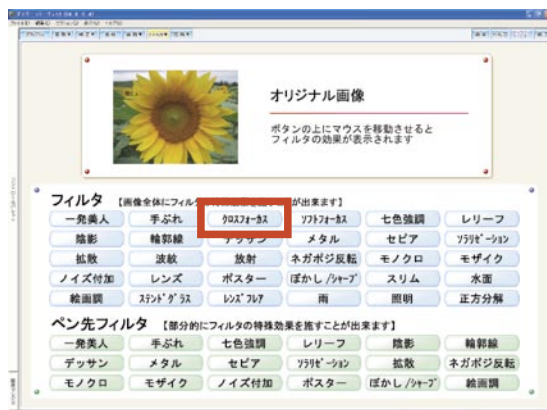


② [フィルタ] ボタンをクリックして下さい。



③ 「セクション選択」画面が表示されます。

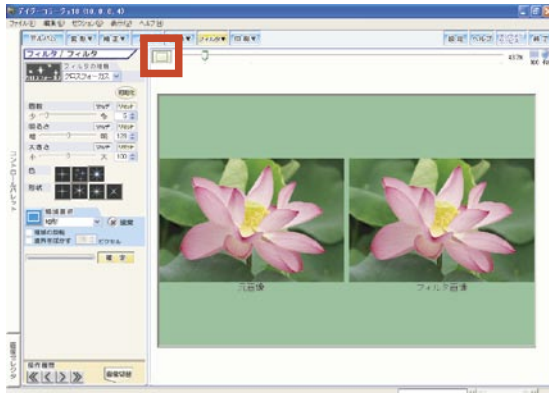
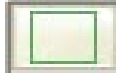
今回は、花の画像に「クロスフォーカス」のフィルタを掛けるので、フィルタ項目の中の「クロスフォーカス」をクリックして下さい。



42 フィルタカテゴリ

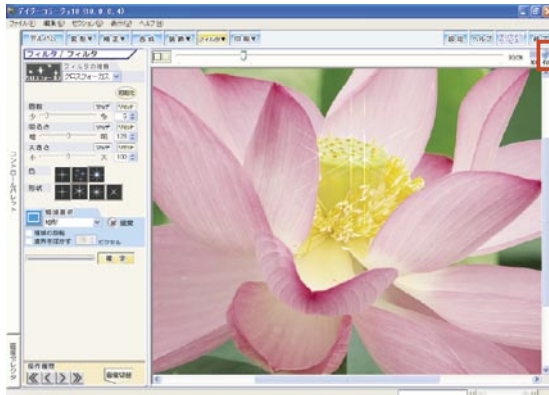
④フィルタ セクション(クロスフォーカス)へ移動します。フィルタ セクション(クロスフォーカス)へ移動した直後は、ここで操作した画像の状態を比較できるように、「元画像」と「フィルタ画像」が並んで表示されます。今回は、花の部分だけにフィルタを掛けるため、領域選択の操作を行います。

[1枚モード] ボタンをクリックして下さい。

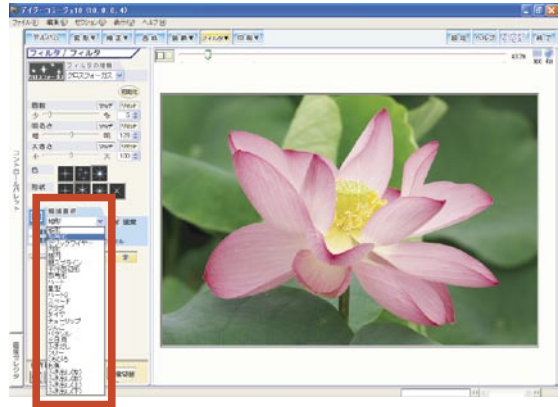


⑤ 1枚モードに切り替わります。

この際に、表示された画像が大きすぎる場合には、キャンバスの右角にある [fit] ボタンをクリックして、画像の表示サイズを調整して下さい。



⑥プルダウンメニューから、使用する領域選択枠の種類を選択して下さい。

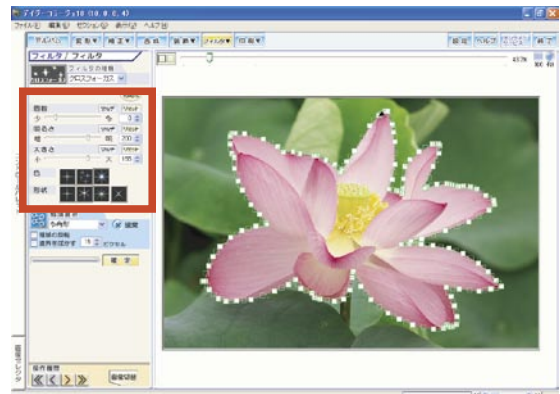


※今回は「多角形」を選択します。

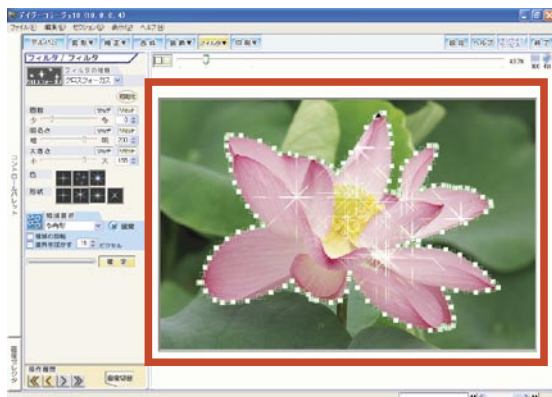
領域選択の操作方法につきましては、ユーザーマニュアルをご覧ください。

⑦領域が選択出来たら、コントロールパレットの各項目を操作して、クロスフォーカスの状態を設定します。

※各項目を操作すると、操作した状態がその都度キャンバス上の画像に反映されます。

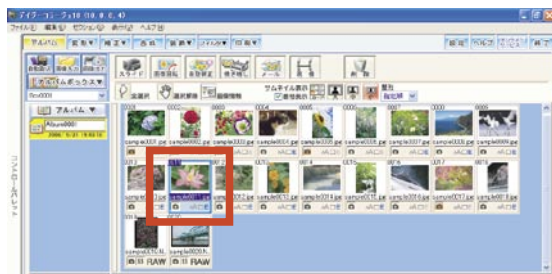


⑨ [確定] ボタンをクリックして、設定したフィルタの状態を確定して下さい。



2. 写真の一部だけにフィルタを掛ける

① アルバムサムネイル一覧から、操作を行うサムネイル (画像) をクリックして下さい。

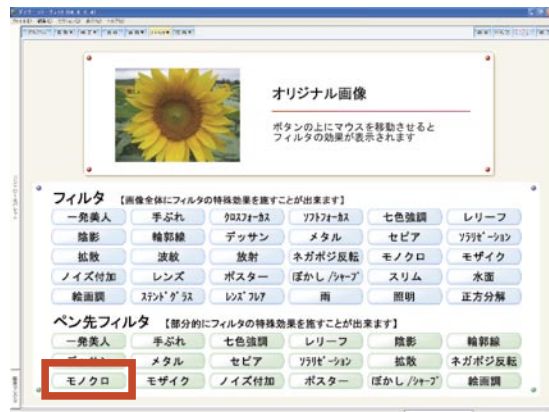


② [フィルタ] ボタンをクリックして下さい。

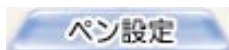


③ 「セクション選択」画面が表示されます。

今回は、全体をモノクロにして、花の部分だけをカラーにします。ペン先フィルタ項目の中の [モノクロ] をクリックして下さい。



④ ペン先フィルタ セクション (モノクロ) に移動します。



ペン先フィルタ セクション (モノクロ) に移動した直後には、まず補正する状態を設定するための「効果設定」画面が表示されます。

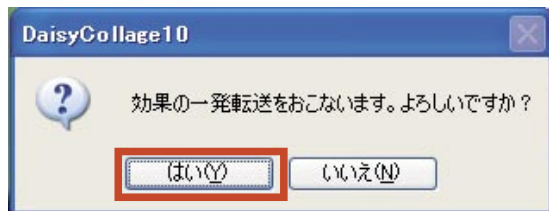
画面左手のコントロールパレット上部のプレビューがモノクロの状態であることを確認してから、[ペン設定] ボタンをクリックして、「ペン設定」画面に切り替えて下さい。

④ まず画像全体をモノクロに変換



[一括転送] ボタンをクリックして下さい。

⑤ 確認メッセージが表示されますので、[はい] ボタンをクリックして下さい。

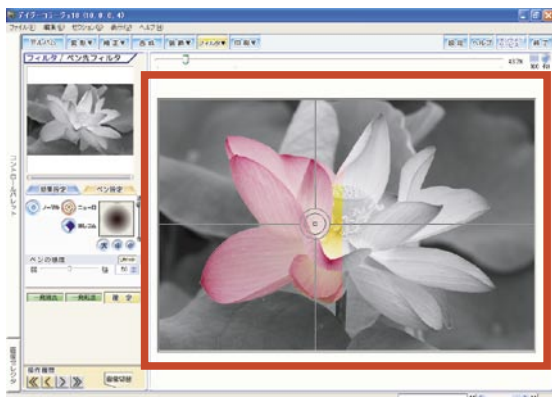


44 フィルタカテゴリ

⑥次に、花の部分のみカラーに戻します。

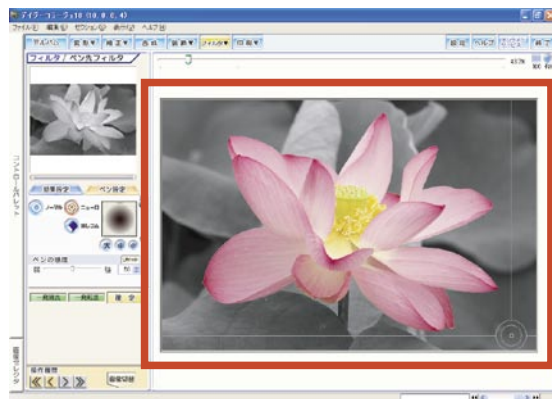


ペンの種類に「ニューロ」が設定されていることを確認してから、一つ目の花の部分を右ドラッグして下さい。



⑦一つ目の花全体が操作出来たら、一度マウスから指を離し、二つ目の花の部分を右ドラッグして下さい。

⑧ [確定] ボタンをクリックして、設定したフィルタの状態を確定して下さい。



VIII. 印刷カテゴリを活用しよう

印刷カテゴリでは、撮影した画像をL判などの用紙へ印刷することはもちろんですが、それ以外にも年賀状などのはがきや名刺、カレンダーなどを作成することも出来ます。

ここでは、その「デジコラージュ 10」の印刷の操作をご案内します。

1. 画像をL判用紙へ印刷する

① [印刷] ボタンをクリックして下さい。

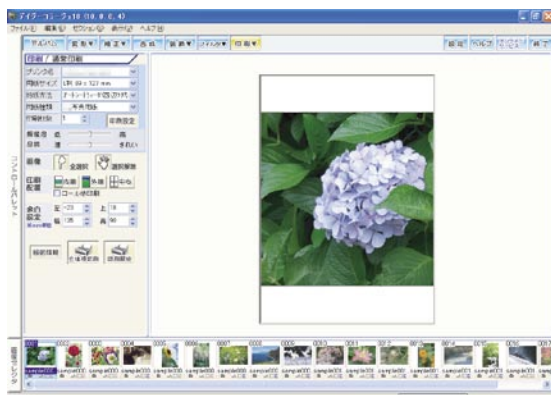


② 「セクション選択」画面が表示されます。

今回は、1枚の用紙に1枚の画像を印刷する通常印刷を行いますので、[通常印刷] をクリックして下さい。

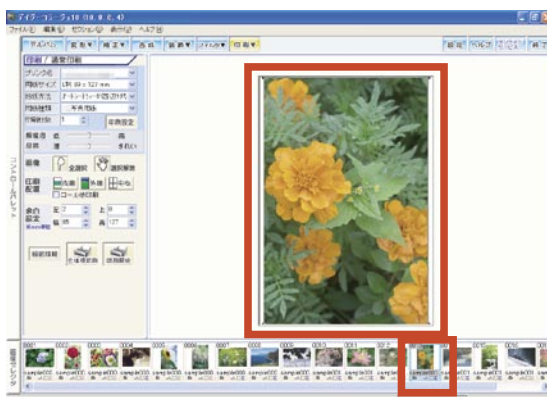


③ 通常印刷セクションが表示されます。



④ 画面下部の画像セレクトから、印刷する画像 (サムネイル) をクリックして下さい。

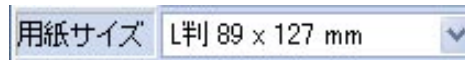
画像 (サムネイル) をクリックすると、キャンバス上に選択された画像が反映されます。



⑤ 使用するプリンタを「プリンタ名」欄に設定して下さい。

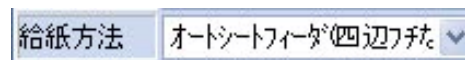


⑥ 「L判 (89 × 127mm)」サイズを「用紙サイズ」欄に設定して下さい。



※プリンタにより、「L判 (89 × 127mm)」が直接ご利用いただけない場合には、プリンタの取扱説明書をご参考の上、「L判 (89 × 127mm)」に相当するサイズを「プリンタのプロパティ」から設定して下さい。

⑦ 使用する給紙方法を「給紙方法」欄に設定して下さい。



46 印刷カテゴリ

⑧使用する用紙の種類を「用紙種類」欄に設定して下さい。

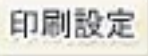
※プリンタにより、用紙種類の設定が直接ご利用いただけない場合には、プリンタの取扱説明書をご参考の上、使用する用紙の種類を「プリンタのプロパティ」から設定して下さい。



■プリンタのプロパティを起動する

「プリンタ名」欄に使用するプリンタ名を設定してから、[印刷設定] ボタンをクリックすると、設定されたプリンタのプロパティが起動します。

※プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧下さい。

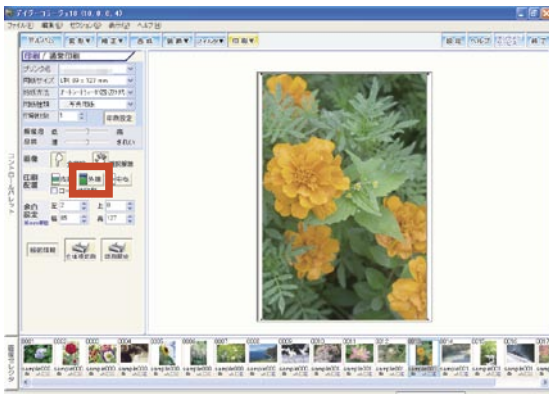


⑨用紙サイズが変更されると、キャンバス上の印刷イメージが変更されます。



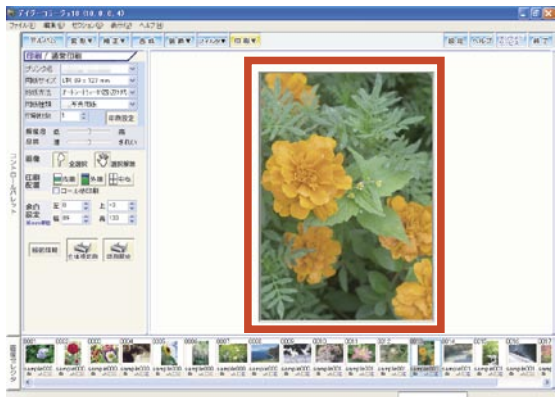
[外接] ボタンをクリックして、画像の自動配置を行って下さい。

※[内接]・[外接] ボタンの操作の違いにつきましては、本書 12 ページをご覧下さい。



⑩画像が自動配置されます。

キャンバス上の画像の配置を確認して下さい。

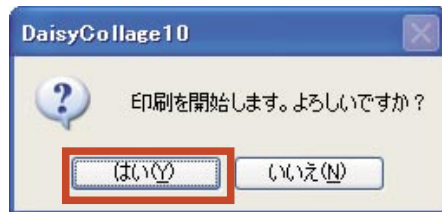


⑪ [印刷開始] ボタンをクリックすると印刷を開始します。



⑫確認メッセージが表示されます。

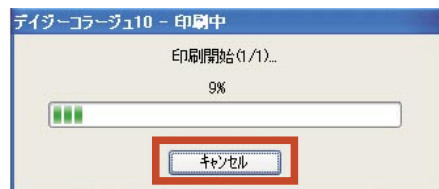
[はい] ボタンをクリックして下さい。



⑬「デージーコラージュ 10 - 印刷中」ウィンドウに処理状況が表示されます。

処理が完了すると、このウィンドウは自動的に終了します。しばらくお待ちください。

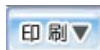
※「デージーコラージュ 10 - 印刷中」ウィンドウのプログレスバーの進行中に [キャンセル] ボタンをクリックすると印刷を中止します。



2. 年賀状を作成する

【管理モード上の操作】

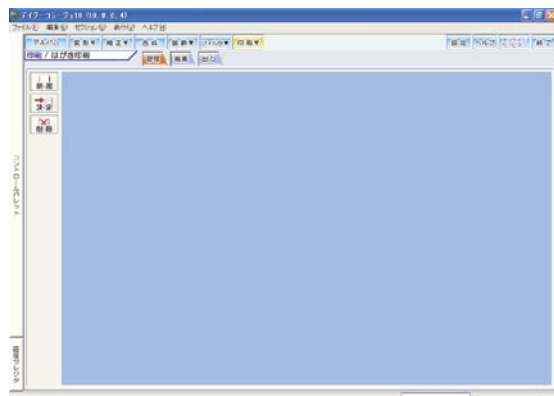
① [印刷] ボタンをクリックして下さい。



② 「セクション選択」画面が表示されます。
[はがき] をクリックして下さい。



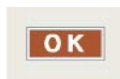
③ はがき印刷セクションの管理モード画面が表示されます。



④ テンプレートを選択します。
[新規] ボタンをクリックして下さい。



⑤ [選択] ウィンドウが表示されま
す。



使用するテンプレートをクリックして、[OK]
ボタンをクリックして下さい。

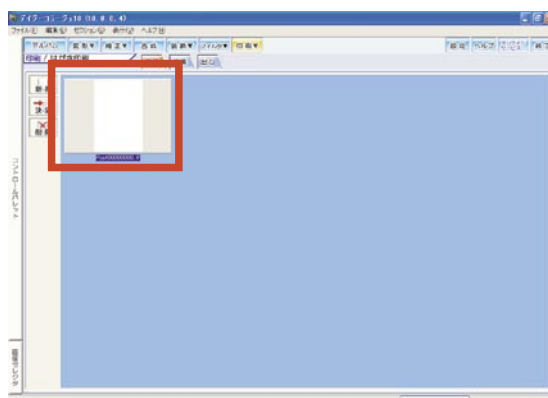


※管理モード画面に一枚もテンプレートが登録
されていない場合には、自動的に「選択」ウイ
ンドウが表示されます。

⑥ 管理モード画面に選択したテンプレ
ートが登録されます。



登録されたテンプレートをクリックしてから、
[決定] ボタンをクリックして下さい。



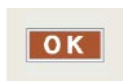
【編集モード上の操作】

①編集モード画面に移動すると、まず画像を選択するための「選択」ウィンドウがアルバムの先頭の画像が選択されている状態で表示されます。

先頭の画像をクリックして、選択を解除して下さい。



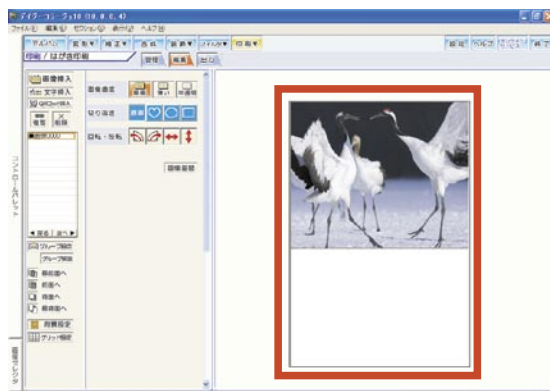
②次に使用する画像を選択してから、[OK] ボタンをクリックして下さい。



③キャンバス上の白紙のテンプレートの左上角に選択された画像が表示された状態で、編集モード画面が表示されます。

キャンバス内の画像を囲んでいる枠内にマウスポインタを合わせてドラッグすると、画像の位置が調整出来ます。また、この枠の角にある「■」にマウスポインタを合わせてドラッグすると、画像の大きさが調整出来ます。

画像の位置と大きさを調整して下さい。



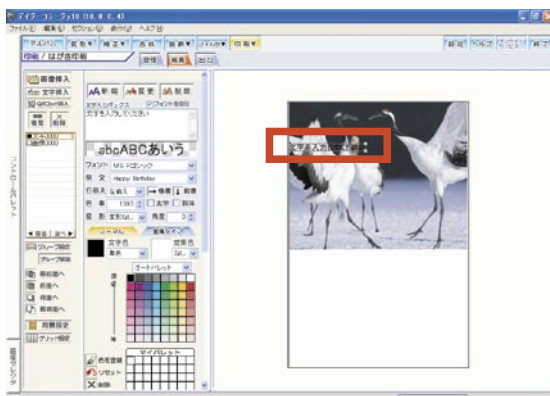
④文章を作成します。



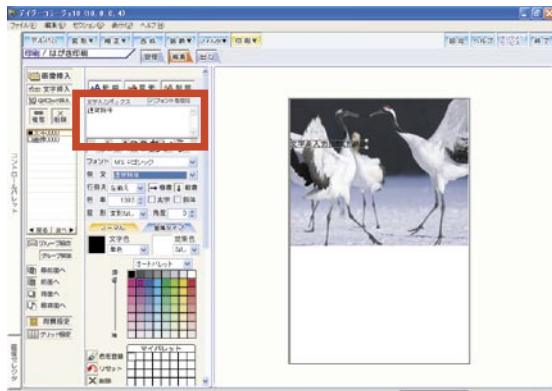
[文字挿入] ボタンを

クリックして下さい。

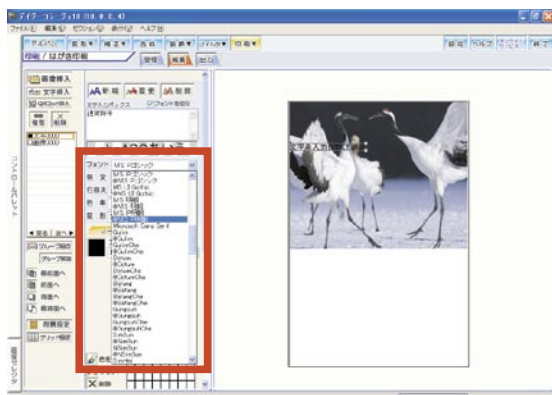
⑤文字入力ボックスとキャンバス内のテンプレート上に「文字を入力してください」という初期の文章が表示されます。



⑥現在表示されている文章を全て削除してから、変更する文章を入力して下さい。

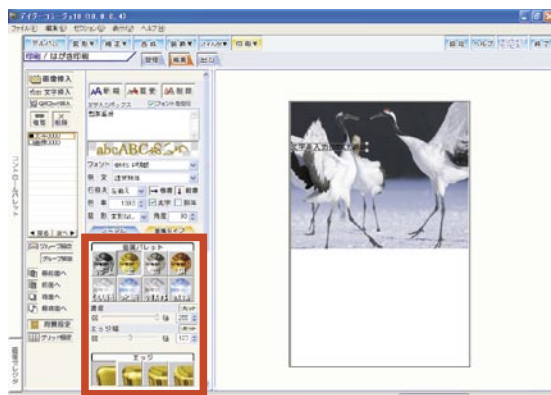


⑦文章を入力したら、その下に用意されている「フォント(フォントの種類)」・「行揃え」などの項目をそれぞれ設定して下さい。



⑧文字の色については、黒や赤などの「ノーマル」な色と、金属調の「金属タイプ」を選択することが出来ます。今回は、金属調の文字を作成しますので、[金属タイプ] ボタンをクリックして下さい。

⑨金属タイプ ボタン一覧が表示されます。使用する金属タイプのボタンをクリックして下さい。

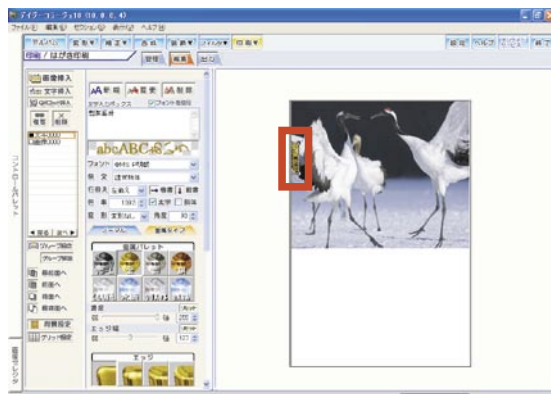


⑩全ての設定が出来たら、[変更] ボタンをクリックして下さい。



⑪設定した文章が反映されます。

キャンバス内の文字を囲んでいる枠内にマウスポインタを合わせてドラッグすると、文字の位置が調整出来ます。また、この枠の角にある「■」にマウスポインタを合わせてドラッグすると、文字の大きさが調整出来ます。



50 印刷カテゴリ

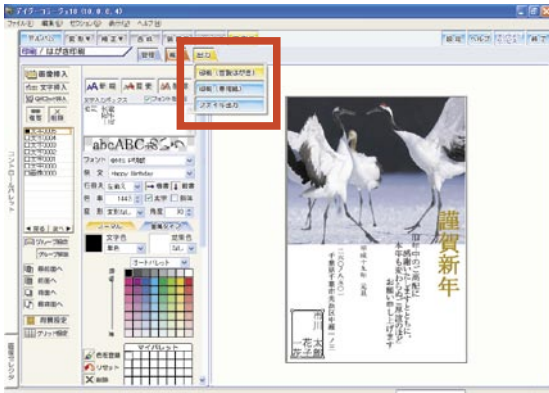
②同様に他に作成する文章の操作を行って下さい。



③印刷を行います。

今回は、「官製はがき」へ印刷を行います。

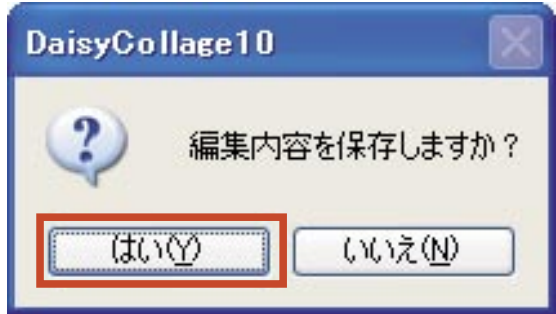
[出力] ボタンをクリックして、表示された詳細ボタンから、[印刷 (官製はがき)] ボタンをクリックして下さい。



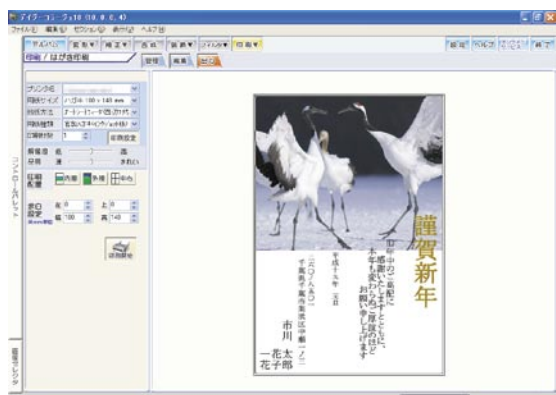
【出力～印刷モード上の操作】

①確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックして、テンプレートの変更内容を保存して下さい。



②印刷モード画面に移動します。



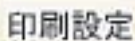
③使用するプリンタ、用紙サイズなどを設定して下さい。



■プリンタのプロパティを起動する

「プリンタ名」欄に使用するプリンタ名を設定してから、[印刷設定] ボタンをクリックすると、設定されたプリンタのプロパティが起動します。

※プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧ください。



④用紙サイズが変更されると、キャンバス上の印刷イメージが変更されます。



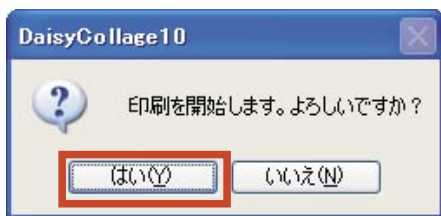
[外接] ボタンをクリックして、画像の自動配置を行って下さい。

※[内接]・[外接] ボタンの操作の違いにつきましては、本書 12 ページをご覧ください。

⑤ [印刷開始] ボタンをクリックすると印刷を開始します。



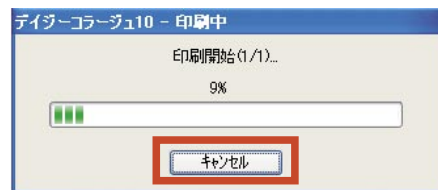
⑥確認メッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックして下さい。



⑦「デジージェコラージュ 10 - 印刷中」ウインドウに処理状況が表示されます。

処理が完了すると、このウインドウは自動的に終了します。しばらくお待ちください。

※「デジージェコラージュ 10 - 印刷中」ウインドウのプログレスバーの進行中に [キャンセル] ボタンをクリックすると印刷を中止します。



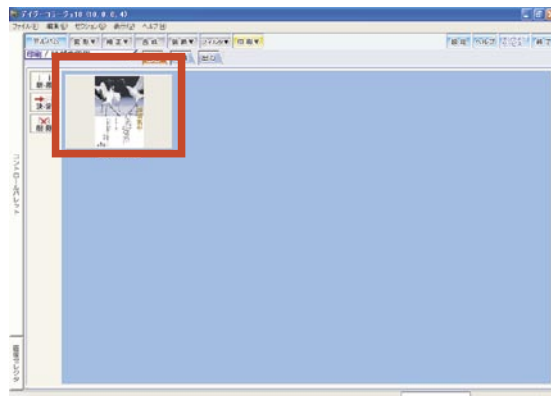
⑧全ての操作が終わりましたら、管理モード画面へ戻ります。



[管理] ボタンをクリックして下さい。

⑨管理モード画面に戻ります。

テンプレートには、編集した内容が反映されます。



3. 名刺を作成する

【管理モード上の操作】

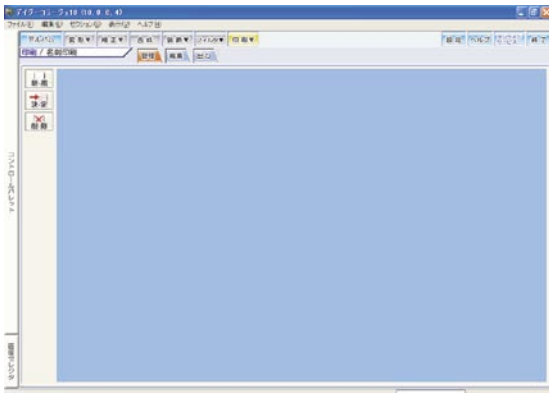
① [印刷] ボタンをクリックして下さい。



② 「セクション選択」画面が表示されます。
[名刺] をクリックして下さい。



③ 名刺印刷セクションの管理モード画面が表示されます。



④ テンプレートを選択します。
[新規] ボタンをクリックして下さい。



⑤ [選択] ウィンドウが表示されま
す。



使用するテンプレートをクリックして、[OK]
ボタンをクリックして下さい。

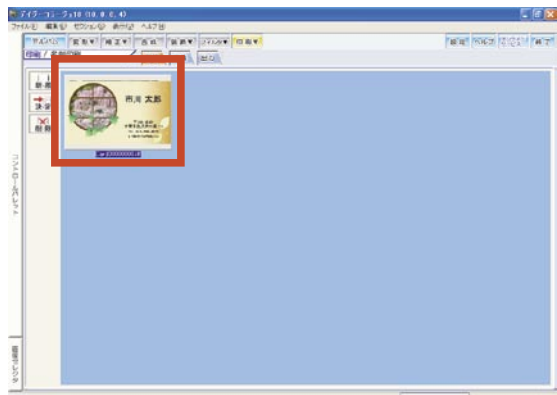


※管理モード画面に一枚もテンプレートが登録
されていない場合には、自動的に「選択」ウイ
ンドウが表示されます。

⑥ 管理モード画面に選択したテン
プレートが登録されます。



登録されたテンプレートをクリックしてから、
[決定] ボタンをクリックして下さい。



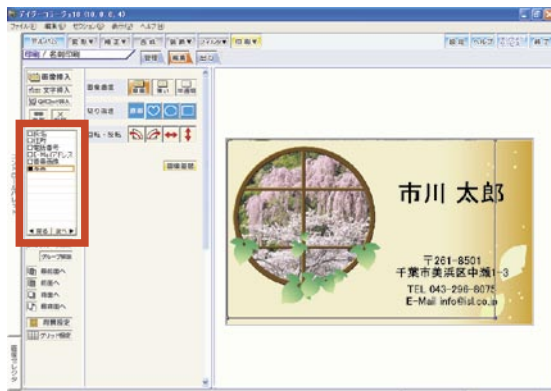
【編集モード上の操作】

①編集モード画面に切り替わります。

画像差替

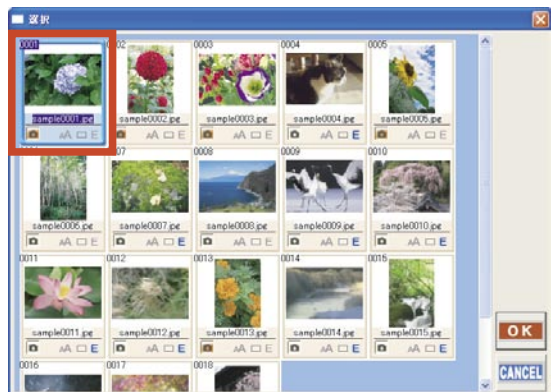
まず、画像を切り替えます。

画面左手の管理マネージャーの中の「画像 (今回は、「写真」になります。)」を選択してから、[画像差替] ボタンをクリックして下さい。



②アルバムの先頭の画像が選択されている状態で、「選択」ウィンドウが表示されます。

先頭の画像をクリックして、選択を解除して下さい。



③次に使用する画像を選択してから、[OK] ボタンをクリックして下さい。

OK



④画像が差し替わります。

キャンバス内の画像を囲んでいる枠内にマウスポインタを合わせてドラッグすると、画像の位置が調整出来ます。また、この枠の角にある「■」にマウスポインタを合わせてドラッグすると、画像の大きさが調整出来ます。



54 印刷カテゴリ

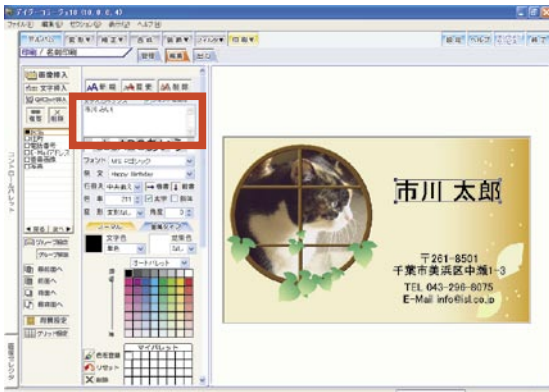
⑤次に氏名を変更します。

画面左手の管理マネージャーの中の「氏名」をクリックして下さい。



⑥文字入力ボックスに氏名の見本が表示されます。

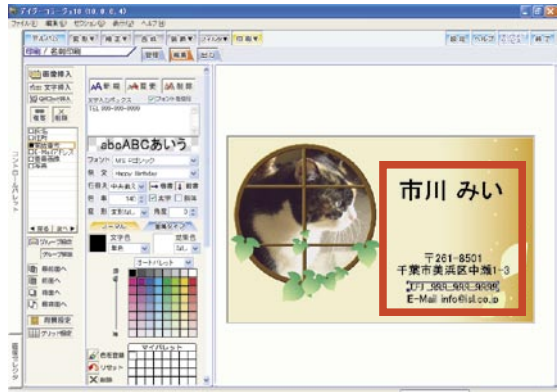
現在表示されている文章を全て削除してから、変更する氏名を入力して、[変更] ボタンをクリックして下さい。



⑦氏名の文字が変更されます。

キャンバス内の文字を囲んでいる枠内にマウスポインタを合わせてドラッグすると、文字の位置が調整出来ます。また、この枠の角にある「■」にマウスポインタを合わせてドラッグすると、文字の大きさが調整出来ます。

更に、同様にして他に変更する文字の項目の操作を行って下さい。



⑧QRコードを追加します。

[QRコード挿入] ボタンをクリックして下さい。

⑨「QRコードの設定」ウィンドウが表示されます。使用する項目を設定して、[作成] ボタンをクリックして下さい。

※入力は、半角英数字で行って下さい。



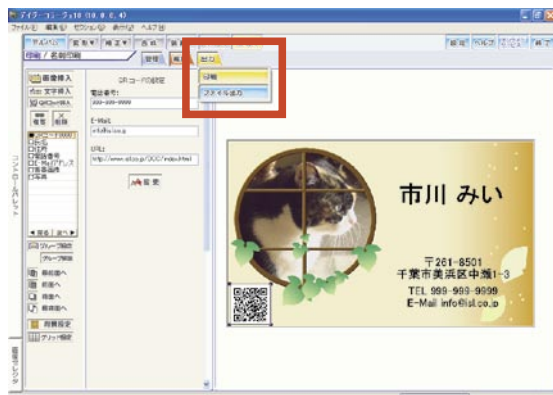
⑩ QRコードがキャンバス上に追加されます。

キャンバス内のQRコードを囲んでいる枠内にマウスポインタを合わせてドラッグすると、QRコードの位置が調整出来ます。また、この枠の角にある「■」にマウスポインタを合わせてドラッグすると、QRコードの大きさが調整出来ます。



⑪印刷を行います。

[出力] ボタンをクリックして、表示された詳細ボタンから、[印刷] ボタンをクリックして下さい。



【出力～印刷モード上の操作】

①確認メッセージが表示されます。

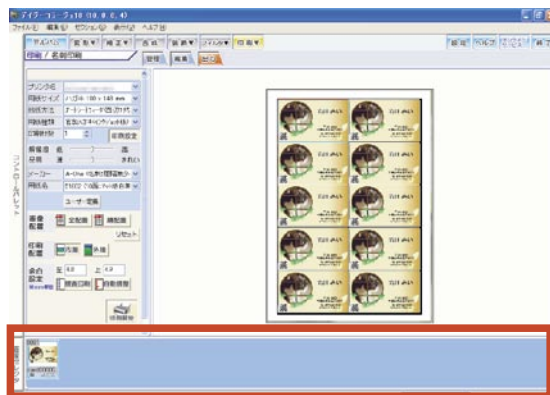
[はい] ボタンをクリックして、テンプレートの変更内容を保存して下さい。



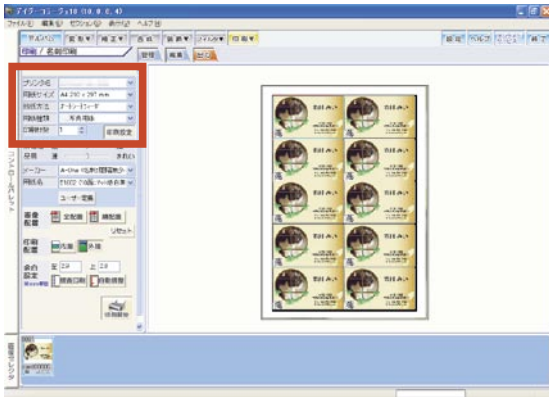
②印刷モード画面に移動します。

印刷モードに移動しましたら、画像を配置します。画面下部の画像セレクトより印刷する画像をクリックして下さい。

今回は、1枚の用紙の全ての枠に同じ名刺を印刷します。[全配置] ボタンをクリックして下さい。



- ③使用するプリンタ、用紙サイズなどを設定して下さい。



■プリンタのプロパティを起動する

「プリンタ名」欄に使用するプリンタ名を設定してから、[印刷設定] ボタンをクリックすると、設定されたプリンタのプロパティが起動します。

※プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧ください。

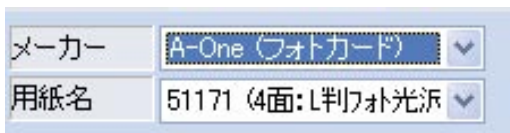
- ④用紙サイズが変更されると、キャンバス上の印刷イメージが変更されます。



[外接] ボタンをクリックして、画像の自動配置を行って下さい。

※[内接]・[外接] ボタンの操作の違いにつきましては、本書 12 ページをご覧ください。

- ⑤使用する専用紙のメーカーと用紙の種類を設定して下さい。



- ⑥ [印刷開始] ボタンをクリックすると印刷を開始します。



- ⑦確認メッセージが表示されます。

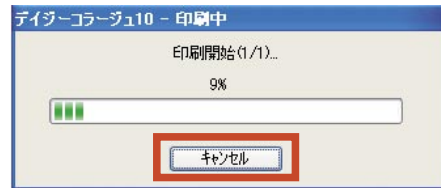
[はい] ボタンをクリックして下さい。



- ⑧「デイジーコラージュ 10 - 印刷中」ウインドウに処理状況が表示されます。

処理が完了すると、このウインドウは自動的に終了します。しばらくお待ちください。

※「デイジーコラージュ 10 - 印刷中」ウインドウのプログレスバーの進行中に [キャンセル] ボタンをクリックすると印刷を中止します。



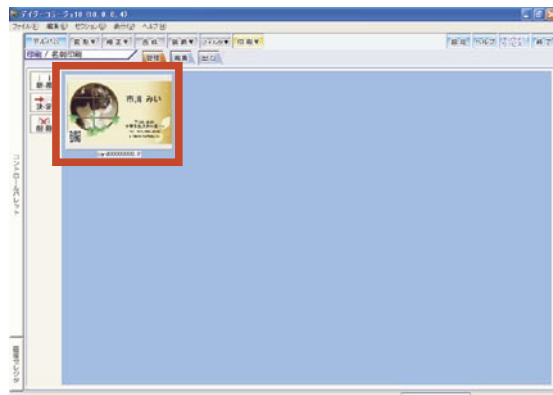
- ⑨全ての操作が終わりましたら、管理モード画面へ戻ります。



[管理] ボタンをクリックして下さい。

- ⑩管理モード画面に戻ります。

テンプレートには、編集した内容が反映されます。



4. カレンダーを作成する

【管理モード上の操作】

① [印刷] ボタンをクリックして下さい。

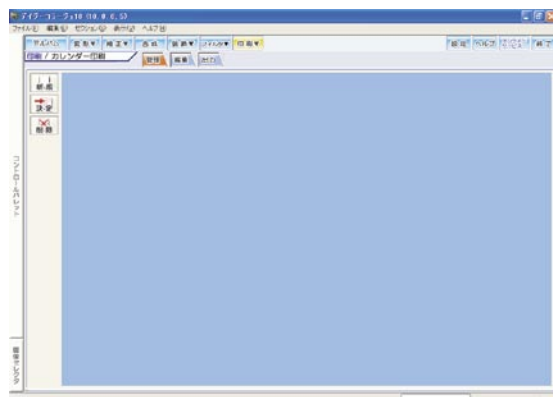


② 「セクション選択」画面が表示されます。

カレンダーを作成しますので、[カレンダー] をクリックして下さい。



③ カレンダー印刷セクションの管理モード画面が表示されます。



④ テンプレートを選択します。

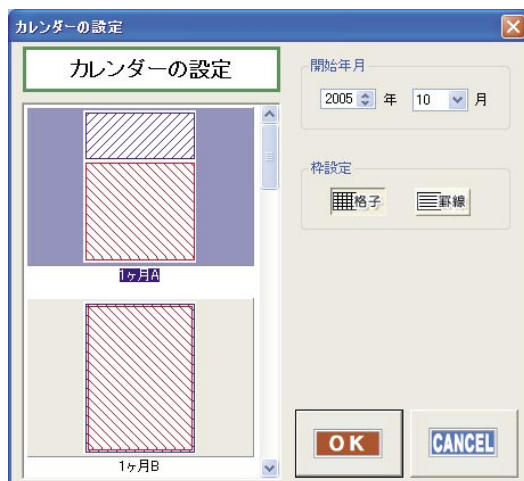
[新規] ボタンをクリックして下さい。



⑤ [選択] ウィンドウが表示されま

OK

す。
作成するカレンダーの「開始年月」、「枠設定」及びカレンダーの月の設定内容を調整して、[OK] ボタンをクリックして下さい。

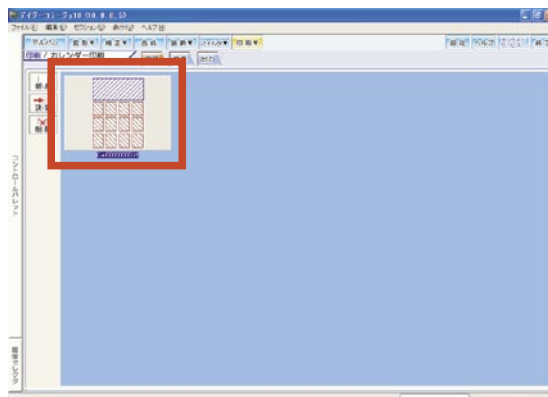


※管理モード画面に一枚もテンプレートが登録されていない場合には、自動的に「選択」ウィンドウが表示されます。

⑥ 管理モード画面に選択したテンプレートが登録されます。



登録されたテンプレートをクリックしてから、[決定] ボタンをクリックして下さい。



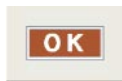
【編集モード上の操作】

①編集モード画面に移動すると、まず画像を選択するための「選択」ウィンドウがアルバムの先頭の画像が選択されている状態で表示されます。

先頭の画像をクリックして、選択を解除して下さい。



②次に使用する画像を選択してから、[OK] ボタンをクリックして下さい。

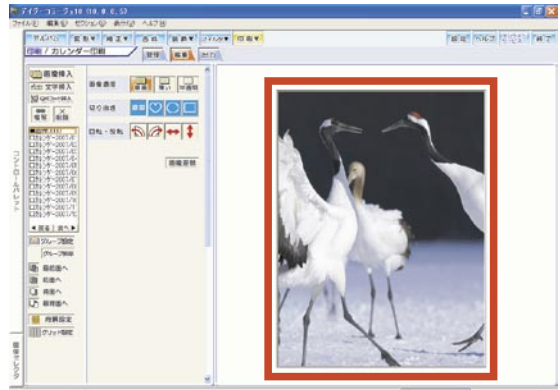


③キャンバス上に選択された画像と設定されたカレンダーの内容が表示された状態で、編集モード画面が表示されます。

まず画像の調整を行います。画面左手の管理マネージャーの中の「画像 0000」をクリックして下さい。

キャンバス内の画像を囲んでいる枠内にマウスポインタを合わせてドラッグすると、画像の位置が調整出来ます。また、この枠の角にある「■」にマウスポインタを合わせてドラッグすると、画像の大きさが調整出来ます。

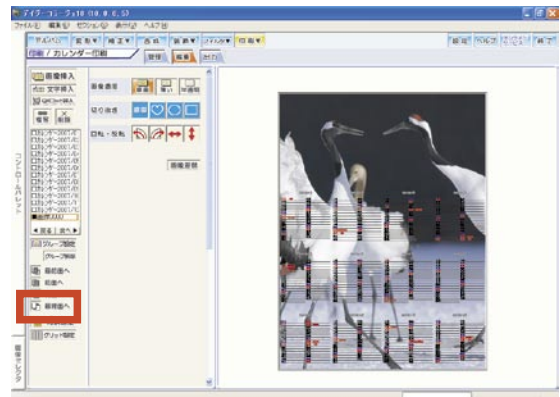
画像をキャンバスいっぱい広げて、位置の調整を行って下さい。



④画像をカレンダーより背後に表示するように、順番を入れ替えます。



[最前面へ] ボタンをクリックして下さい。

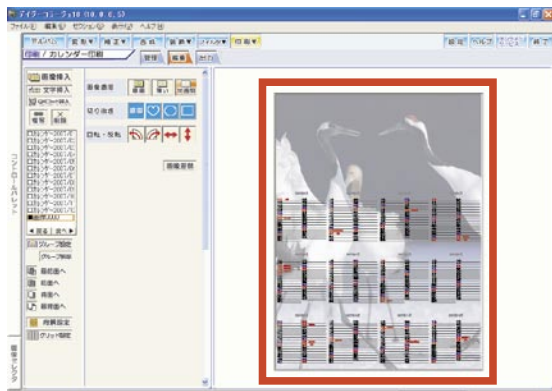


⑤画像の表示の濃さを調整します。

今回はカレンダーの下に画像を配置

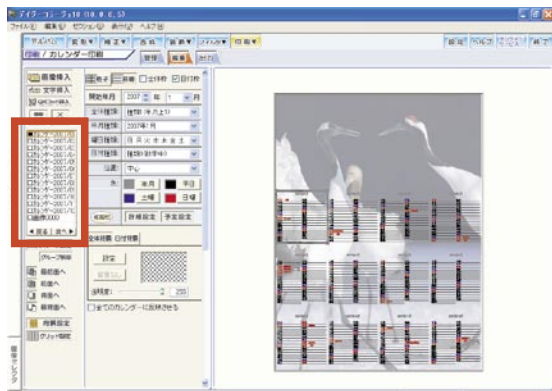
半透明

しているため、カレンダーを強調するために、[半透明] ボタンをクリックして、画像の表示を薄くします。



⑥次にカレンダーの表示を変更します。

画面左手の管理マネージャーの中の「カレンダー」で始まる項目の内、何かひとつをクリックして下さい。



⑦管理マネージャーの右側のコントロールパレットが、カレンダーのコントロールパレットに切り替わります。

詳細設定

[詳細設定] ボタンをクリックして下さい。

⑧「カレンダー設定」ダイアログが表示されます。変更したい内容を設定して下さい。

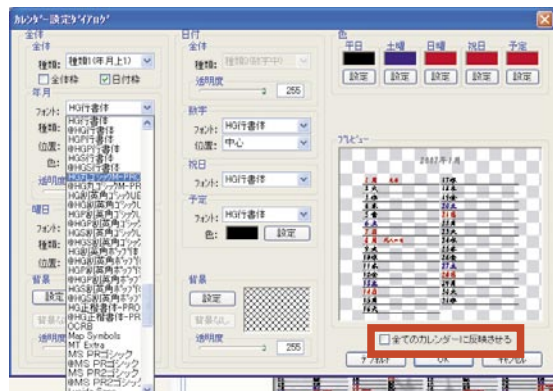


■全てのフォントを変更する

カレンダー上で使用しているフォントの種類を全て一度に変更する場合には、キーボードの [Shift] キーを押さえながら、何かひとつの項目の変更を行って下さい。
※但し、英数字のみにしか対応されないフォントを使用した場合、祝日など日本語のみに対応した項目は、正しく表示されなくなりますのでご注意ください。

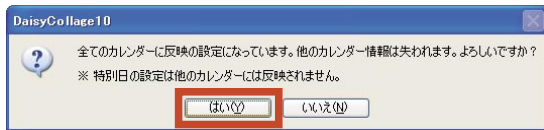
⑨今回は全ての月に設定した内容を反映します。

「全てのカレンダーに反映させる」項目をクリックして、チェックマークを付けてから、[OK] ボタンをクリックして下さい。



⑩確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックして下さい。

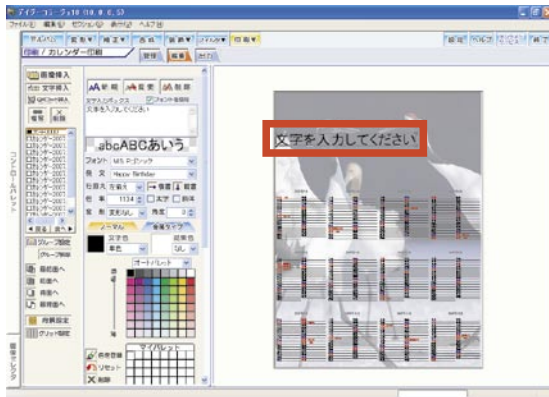


⑪編集モード画面に戻ります。

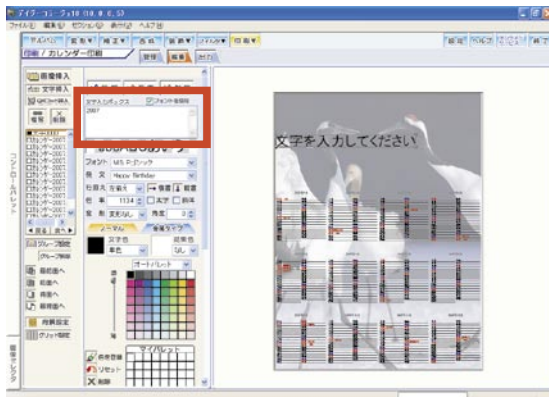


最後に西暦を入力します。[文字挿入] ボタンをクリックして下さい。

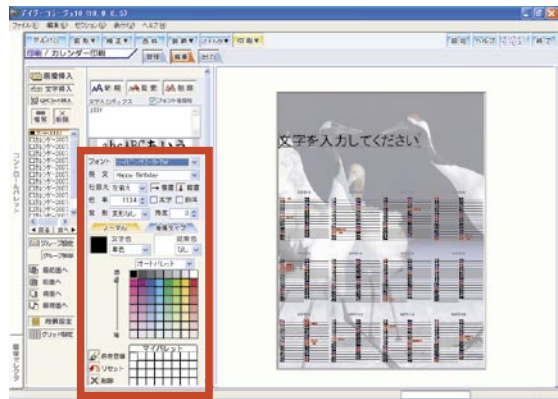
文字入力ボックスとキャンパス内のテンプレート上に「文字を入力してください」という初期の文章が表示されます。



⑫現在表示されている文章を全て削除してから、変更する文章を入力して下さい。



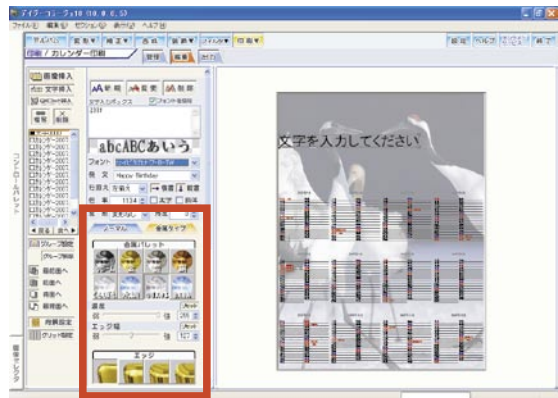
⑬文章を入力したら、その下に用意されている「フォント(フォントの種類)」・「行揃え」などの項目をそれぞれ設定して下さい。



⑭文字の色については、黒や赤などの「ノーマル」な色と、金属調の「金属タイプ」を選択することが出来ます。

今回は、金属調の文字を作成しますので、[金属タイプ] ボタンをクリックして下さい。

⑮金属タイプ ボタン一覧が表示されます。使用する金属タイプのボタンをクリックして下さい。



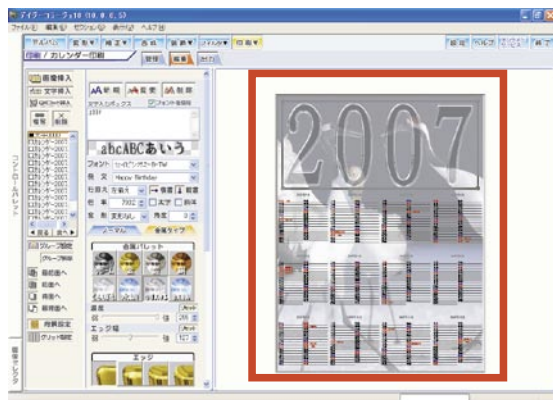
⑯全ての設定が出来たら、[変更] ボタンをクリックして下さい。



⑰設定した文章が反映されます。

キャンパス内の文字を囲んでいる枠内にマウスポインタを合わせてドラッグすると、文字の位置が調整出来ます。また、この枠の角にある「■」にマウスポインタを合わせてドラッグすると、文字の大きさが調整出来ます。

設定した文章の位置と大きさを調整して下さい。



⑱全ての操作が完了しましたら、今回は次にご案内する「5. ポスター（拡大）印刷をする」で印刷の操作を行いますので、管理モード画面へ戻ります。



[管理] ボタンをクリックして下さい。

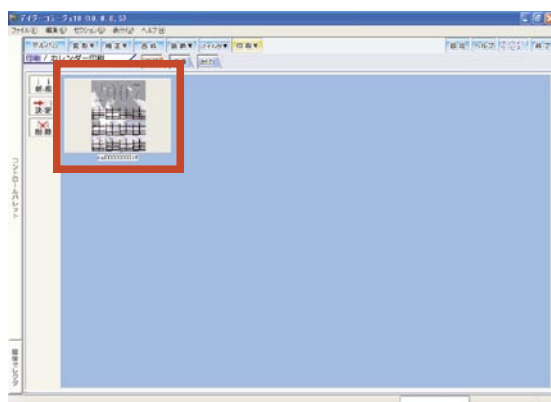
⑲確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックして、テンプレートの変更内容を保存して下さい。



⑳管理モード画面に戻ります。

テンプレートには、編集した内容が反映されます。



5. ポスター (拡大) 印刷をする

① [印刷] ボタンをクリックして下さい。



② 「セクション選択」画面が表示されます。

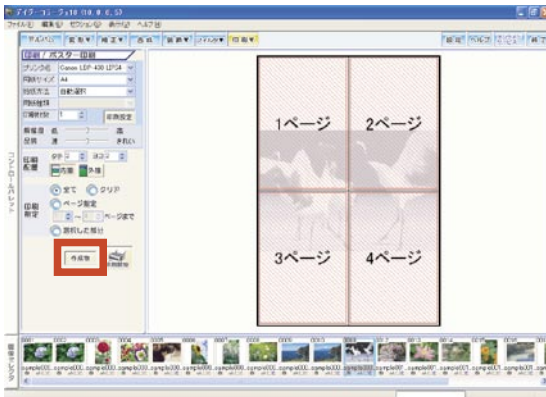
ポスター (拡大) 印刷を行いますので、[ポスター] をクリックして下さい。



③ ポスター印刷セクションが表示されます。

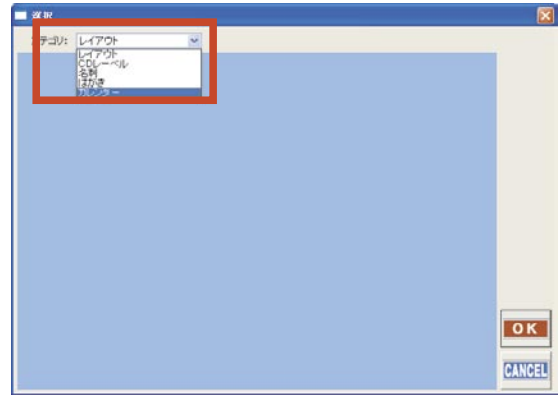
作成物

今回は、前項目にて作成したカレンダーを印刷しますので、作成物から印刷する画像を読み込みます。[作成物] ボタンをクリックして下さい。

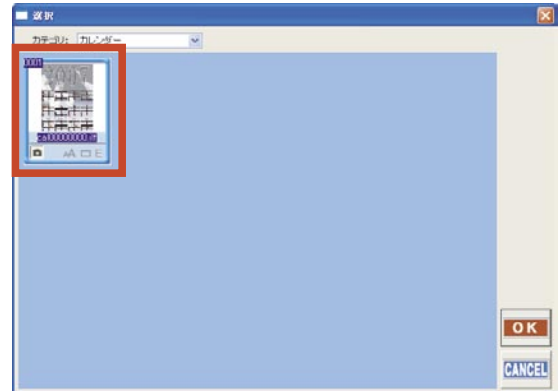


④ 「選択」 ウィンドウが表示されます。

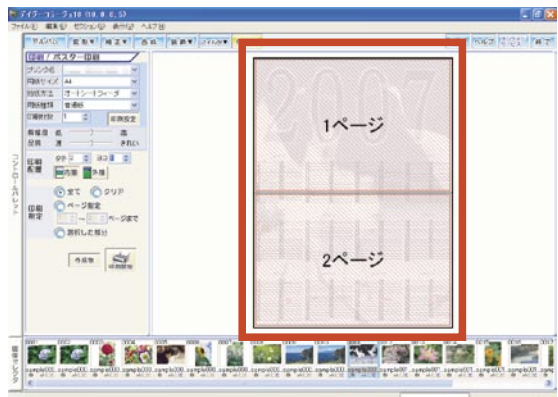
「カテゴリ」のプルダウンメニューから、「カレンダー」を選択して下さい。



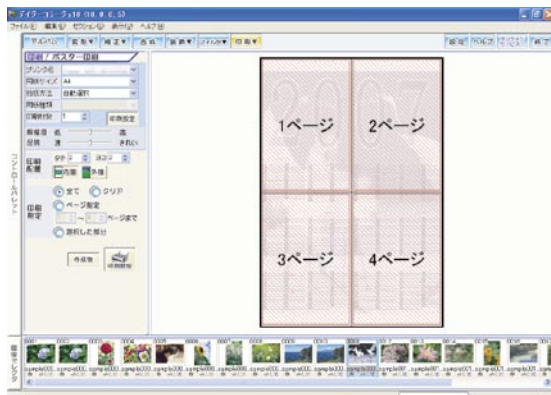
⑤ 次に使用する画像を選択してから、[OK] ボタンをクリックして下さい。



⑥ 選択した画像がキャンバスに反映されます。



⑦使用するプリンタ、用紙サイズなどを設定して下さい。



■プリンタのプロパティを起動する

「プリンタ名」欄に使用するプリンタ名を設定してから、[印刷設定] ボタンをクリックすると、設定されたプリンタのプロパティが起動します。

※プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧ください。

⑧印刷に使用する用紙の枚数を設定して、印刷範囲を指定します。

今回は、「タテ」を「2」枚、「ヨコ」を「1」枚に設定します。



⑨ [内接] ボタンをクリックして、画像の自動配置を行って下さい。



※ [内接]・[外接] ボタンの操作の違いにつきましては、本書 12 ページをご覧ください。

⑩印刷を行う範囲を指定します。



今回は、全体を一括で印刷しますので、「印刷指定」で「全て」を指定します。

⑪ [印刷開始] ボタンをクリックすると印刷を開始します。



⑫確認メッセージが表示されます。

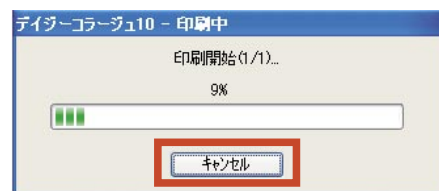
[はい] ボタンをクリックして下さい。



⑬「デイジーコラージュ 10 - 印刷中」ウィンドウに処理状況が表示されます。

処理が完了すると、このウィンドウは自動的に終了します。しばらくお待ちください。

※「デイジーコラージュ 10 - 印刷中」ウィンドウのプログレスバーの進行中に [キャンセル] ボタンをクリックすると印刷を中止します。



6. ポスターを貼り合わせる

■用意するもの

はさみ・カッター・セロハンテープ・定規
下敷き(ダンボールなど)

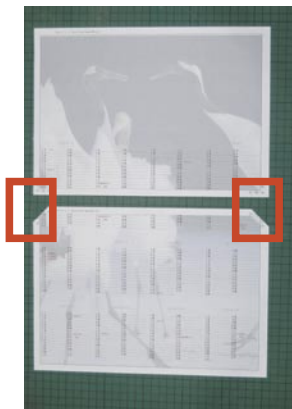
※1 カッター及びはさみを使用する際には、手など傷つけないように、十分ご注意ください。

※2 カッターを使用する際に、作業する台を傷つけないように、ダンボールなどを下敷きとしてご利用下さい。

①分割印刷されたポスターを並べます。



②上の用紙に下の用紙を重ね、重ねるほうの用紙の角をトンボの斜め線に合わせて左右とも切り落とします。



③2枚を重ねて、上下ともトンボの色の濃いマス同士を互いに合わせて、セロハンテープを使って仮止めします。



④仮止めした用紙を裏返して、裏面からも仮止めをします。

※この際、印刷された面を汚さないようにご注意ください。



⑤用紙を表に戻して、貼り合わせた左右の濃い色同士が合わさった部分の黒い境界線に定規を当てて、カッターで切り落とします。

※この際完全にバラバラにならないように、左右の余白の部分は切り落とさないようにして下さい。



⑥再び用紙を裏返して、切り離された部分の中央を印刷面を傷つけないように注意しながら、はさみで切ります。

中央で切り離した部分は、外側に折り返して下さい。



⑦合わせ目をずらさないように注意しながら、本止めを行って下さい。

本止めが出来ましたら、切り離した部分は取り除いて下さい。



⑧用紙を表に戻して、画像の周りの余白部分をカッターで切り落として下さい。



⑨完成です。



デイジーコラージュ

version 10 for WindowsMe/2000/XP

活用ガイドブック

2006年10月20日 第1版



開発・著作

株式会社 市川ソフトラボラトリー

〒261-8501 千葉県美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンビル東中央館(CD)5F
サポートセンター Tel.043(296)8080 Fax.043(296)8079

製品の仕様、マニュアルの記載事項ならびに価格は予告なしに変更する場合がございます。予めご了承下さい。
マニュアルに記載されている仕様、画面は開発中のもので製品版と異なる場合がございます。



ICHIKAWA SOFT LABORATORY